

Vol.057

尚 和 会 報 2009

平成21年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪



「枝垂れ桜」の竹の支柱が古くなりましたので
尚和会で丸太を使って作り直し、また肥料や枝払いで
風通しを良くしました。
今年も満開の花を咲かせてくれました！

尚和会総会のご案内 平成21年5月17日（日）

ホテルアイボリーにて（豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111）

- ◆総会……………オーキッドホール 12:00～12:45
- ◆ミニコンサート……………13:00～13:30
- ◆懇親会……………13:35～15:30
- 食事はシッティング・ブッフェスタイル
- ◆ビンゴゲーム
- ◆会費 ……4,000円（2005年以降の卒業生2,000円）

<ミニコンサート内容>

演奏曲「翼をください」他数曲
高校25期～30期のフォークソ
ング研究会（現軽音楽部）のOB
十数名による演奏をお楽しみいた
だきます。総会にご参加される皆
さんに喜んでいただけるよう、
練習を重ねております。たくさんのご来場をお待ちしております。



創立70周年記念祭典にて

Contents

尚和会会長・校長ごあいさつ……………	2
学校だより……………	3
母校クラブだより……………	4
投稿記事・進路状況……………	8
尚和会通信・各期連絡先……………	9
役員紹介……………	10
尚和会決算・予算報告……………	10
特集記事『桜の堀・有形文化財認定』…	11
同期会報告……………	12
同期会予告……………	17
教職員人事異動・お便りから……………	18
平成20年度 新年理事会、評議員会報告 …	20
物故者芳名簿……………	20
平成20年度会報代・協力金 ……	21
平成20年度総会・懇親会 ……	24

発行——尚和会

発行責任者 大畠 光昭 編集責任者 乾 憲隆

ご挨拶



尚和会会長
大畠 光昭
(高十五期)

平素は尚和会活動に対し、いろいろとご協力を賜り有難うございます。

前田中会長よりバトンを引き継ぎ、新体制でスタートし平穩無事に一年が過ぎました。これもひとえに役員、理事、評議員を始め、関係各位の温かいご支援の賜物であると感謝いたしております。

ところで、本年二月に、全日制と定時制の卒業式に出席させて頂き、新たに三百五十一名(全三百十四名、定三十七名)の新会員を迎えることが出来たことは、誠に喜ばしい限りです。

これで会員総数三万四千九百余名の大所帯になった現在、次の創立八十周年に向け、どのような形で母校の発展に積極的に寄与し、会員諸氏相互の連携を強め、尚和会の益々の活性化を計るか、本年度も役員を始め、理事、評議員共々考え実行に移して行きたいと考えております。

さて、百年に一度と言われる世界的経済不況の昨今、会員の皆様の中には少なからず、その影響を受けておられる方もいらっしゃるのではないかと想像します。この状況は今が底で、今後は緩やかに右肩上がりに回復することをお願いできません。

厳しい年かも知れませんが、尚和会活動を支えるのは他ならぬ会員皆様からの協力金です。どうか本年も何卒よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。

し上げますと共に、来る五月十七日(日)にホテルアイボリーにて開催致します総会にも是非ご出席戴き、楽しいひとときを同窓生と過ごしませんか。

ここで朗報を一つ。去る二月二十二日、母校敷地を囲うように残る、開校当時(一九三八年、昭和十三年)からのレンガ造りの柱の間にはめ込まれた「コンクリートに桜の花」をあしらった透かし穴の塀が「国指定登録有形文化財(建造物)」として文部科学省文化庁より指定されました。豊中高等学校創立当時の雰囲気を含んでい

る点が評価されました。初夏を迎える頃には記念銘板も設置されていると思います。是非一度母校の歴史の一端を垣間見る意味で懐かしい恵風苑、恩露園共々訪れて見てはいかがでしょう。この貴重な近代文化財を学校と共に、尚和会としても後世に残すべく保存面に於いても協力を惜しまないつもりです。

どうか会員の皆様、今後共、母校及び尚和会発展のために温かいご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

確として繋ぎゆくことを！



桜塚高校校長
西郷 正人

今年の春も、桜の桜に見守られ、全日制定時制合わせて三百五十四名の後輩が元氣よく桜の門を飛び出し、また一方新たに約400名の若者が、桜の仲間として歩き始めています。

季節が落ち着かない今春でしたが、我が桜塚が誇る正門の、枝垂れ桜と

玄関東側にある、古色然とした枝垂れ桜に真新しい梓支えと間伐の手を尚和会様のご支援で施して戴きました。

「創立七十周年」を挟んでのご支援ですが、今般10年後20年後の「桜の桜たち」を想い戴いての事業を進めて戴きました。1年後、2年後、3年後...と凛とした気品と冴える美しさが、また確かなボリュウムがこれから年を追う毎に積み上げられ、その様子や、またその時々、桜に集う生徒達や皆様方、地域の人達のこと、想いを馳せま

す。嬉しい報告をもう1件させて頂きま

す。昨年5月から豊中市教育委員会と桜塚高校(社会科の村川先生にお世話戴きました)との協議で、高女期から今も現存する「桜塚高校の北側の塀」を国の有形文化財に登録することの準備を進め、夏には大阪府を通して文化庁に申請してまいりました。

新聞にも載りましたように、本年1月8日正式に登録され、1月22日付けの「登録証」と3月には銅製の「登録プレート」が本校に届けられました。

この北摂の地で地域の信頼や期待を大きく受けながら、多くの人材を世に送り出された旧豊中高等学校を、またその息づきを、地域と共に桜塚高校としてここに顕彰させていただけることは誠に意義深いことで、また誉れ高いことと思っております。(写真等の資料も別段で掲載戴いております)

桜塚の取組みのいずれの場におきましても、尚和会の皆様方には常に温かく見守って頂き、また熱いご支援を頂戴しておりますことに、後輩たちは勿論のこと、我々教職員にとりましても大きな力付けとなっております。誠に

ありがとうございます。ここに心より御礼申し上げます。

本年度、「大阪の教育力」の向上に向けての取組みが全府的に動き始めています。今後の10年間の大阪の教育が目指すべき方向性として、「『学校力』を高める」、「学校・課程・地域をつなぐ」、「子ども達の志や夢をはぐくむ」を3つの目標として、目標実現の「10の基本方針」、さらに今後5年間の具体的取組としての「35の重点」が示され、すべての学校が組織力を向上させ、家庭・地域とも連携する中で特色ある教育活動を展開し、「確かな学力」を確立するための「学び」と、「豊かな心」の「はぐくみ」を実現し、それらを基盤とした「生きる力」を育成することを求められています。

これに先立ち桜塚高校(全日制)では平成19年度の秋より始め、「桜塚(生)を考える」会が中核となって「今後の桜塚生に求めるもの」を全体調査・分析検討・全体議論・実施内容の共通理解・実践・更なる検討と積み重ね、桜塚の実践の評価と継承すべき点の確認、今後工夫改善する点の整理などを着実に展開しております。今は、「生徒と共に、授業の桜塚を！」奮闘しております。

地域に愛され、支えられている桜塚高校を今後とも、より深化させ発展を続ける桜塚とすべく

生徒たちはもとより私も教職員も元氣に励みたいと思います。今後ともいっそうのご指導ご支援をお願い申し上げます。

着任のご挨拶

定時制課程 准校長 鈴木 弘一

尚和会会員の皆様、こんにちは。前任の関省子先生に代わり四月より准校長として定時制の課程に赴任いたしました鈴木です。よろしく願いいたします。

府立学校の教員になって以来、前勤務校の東豊中高等学校まで、定時制の課程に勤務したことは一度もなく、色々と分からないことばかりですが、早く慣れるように努力したいと思っています。

定時制の課程には、様々な課題や悩みを持ちながらも、精一杯頑張っている生徒が数多く在籍しています。そのような生徒たちに対する、きめ細かく、丁寧で、生徒に寄り添った学習指導や生活指導をより一層充実させ、生徒たちの力をさらに伸ばすために、安尾教頭をはじめ教職員とともに微力ながら頑張りたいと思っています。その上で、生徒一人ひとりが夢を育て、その夢をかなえることのできる学校をめざしたいと考えています。

このような学校づくりのためには、保護者の皆様だけでなく、地域住民をはじめ様々な方々のご理解とご協力が不可欠です。

特に、本校のことをよく理解してくださっている尚和会会員の皆様の一層のご協力とご支援が重要だと考えております。

本校定時制の課程の一層の発展のために、今まで以上に協力とご支援をお願いいたします。

離任するにあたって

阿武野高等学校長 関 省子

尚和会会員の皆様、平素は定時制課程の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。また、二年間の桜塚高校在任中は、ご支援をありがとうございました。

四月一日付け、高槻市にあります阿武野高等学校の校長を拝命しました。

二年前、桜塚高校の副校長として着任し、昨年は准校長として、楽しく仕事をさせていただきました。桜塚高校には平成十三年三月まで十四年間勤務させていただきましたから故郷に帰った気持ちが出ておりました。

定時制の生徒たちは、学習・部活動・学校行事等に積極的に参加していました。仕事・アルバイトが終わってから眠い目をこすりながら授業を受ける生徒、障がいがあっても毎日登校する生徒、学びなおしの意欲をもつ少し年齢を重ねた生徒、家庭の状況としては経済的に苦しいなかでも卒業を目標に日々努力する生徒が、それぞれに一生懸命取り組んでいました。部活動も放課後の限られた時間のなかで積極的に活動しました。対外試合の時には、応援に行き一緒に喜びや悔しさを共有させていただきました。

先生方は生徒一人ひとりを大切に、各生徒の持つ課題・悩み・苦しみに耳を傾け、寄り添いながら、温かい心を持って指導をされており、地元の中学校・地域の皆様から厚い信頼を集めています。

さて、新しく着任しました阿武野高校は、自宅から徒歩でも40分で通勤できるロケーションです。昭和五十八

(1983)年創立の比較的设置の新しい高校、校庭の美しさでは大阪府内十本の指に入る高校です。平成十八年以前の5年間、全国で初めて、障がいのある生徒の入学を受け入れ調査研究校をしてまいりました。そして平成十八年、大阪府教育委員会から制度化を受け、前期入試で「自立支援コース」に障がいのある生徒に入学していただいています。また、同年、三島地区でただ一校「スポーツ専門コース」と「福祉専門コース」を設置し、特色ある教育活動に取り組んでおります。

桜塚高校での名残はつきませんが、新しく勤務した高校で、新たな気持ちでがんばりたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。二年間ありがとうございました。

学校だより

六十一期生の卒業に寄せて

第三学年主任 田中 淑

まだあどけない中学生の面影を残して入学してきた六十一期生たちも、桜塚で過ごした三年間の生活から得た充実感からでしょうか、卒業の日を迎えて何となく自信に満ちた表情を見せながら巣立っていききました。

私にとっては、振り返ってみると長いようでも、あつという間の三年間で、いろいろな事があつたけれど、一番の感動は合唱コンクールでした。何を飾ることもなく、みんなが心を一つに通い合わせれば、人の歌声のハーモニーがどんなに美しく、人を感動させるか、ということ、改めて教えて

もらい、涙腺もゆるみました。生徒たちが、一つのことに集中して取り組み、こんな力を発揮するんだ、ということに驚きました。

二年生になって、学習面では少なからず「中だるみ」をしていたけれど、オーストラリアへの修学旅行で、ファームステイを終えて帰ってきた時の、生徒たちの生き生きとした表情を見た時、修学旅行の成功を実感するとともに、その後の彼らの高校生活への、前向きな新しいエネルギーの再燃を見ることができた気がしました。

三年生になると、進路のことに集中させたい担任の気持ちと裏腹に、体育祭では、生徒たちは最上級生として、若く、力強いメッセージを示してくれました。

私たち六十一期の担任団は、新しく桜塚に転任してきた先生が多かったせいか、桜塚の良き伝統を大事にしながらも、スタディサポーターの導入をはじめ、PTA主催による校内模試の実施など、新しいことに積極的に取り組んだ学年でした。

とかく教員は、生徒集団を指導する立場を強く意識して考えるあまり、よく言われる「学年のまとまり」ということを、外見上の規律正しさや、集団行動の統一性だけをもって、判断しがちですが、それ以上に、生徒たちどうし、生徒たちと担任団、担任団と保護者、それぞれの間に信頼感が、「学年の絆」として、感じとれることが、大切だと思っています。

卒業式を終えて、生徒たち一人一人の心の中に自然と、お互いを思いやる気持と仲間意識が残る、いつも自分たちを温かく見守ってくれ、支えてくれ

たのは、担任一人だけでなく、学年団のすべての先生方だ、ということ、生徒たちは無意識に感じ取ってくれたのでは、と思っています。それが桜塚高校での生活に安心感を与え、期待に応えようとする向上心にも、つながってきたのだと思っています。このこそが、私たち六十一期の誇るべき「学年のまとまり」なのです。

六十一期卒業生の皆さんの、これからの人生に幸多かれ、と祈っています。

六十二期生への期待

第二学年主任 渡辺 宗治郎

六十二期生は我々が当初から学年指導指針の中に挙げているところの「社会性の習得、及び進路意識の向上」について、生徒個々の努力甲斐あつて概ね順調に養われてなかなかい感じの集団を形成しつつあると思います。普通のことを普通に実践させることは簡単なようで難しいことですが、普段から生徒に求めている我々の意志を真摯に汲み取り、取り組む姿勢は高く評価されます。

これからの一年はすべての分野において結果を出す年になります。初めて自分で切り開くことになる進路への挑戦と、学校の顔となる上級学年の自覚が益々発揮されることを期待しております。

主な学校行事

平成二十一年度全日制の主な行事

校内理事 桑田 誠

本年度の主な全日制の行事です。

在校生の元気な姿を見に来て頂きたいと思っています。

六月

一日～十九日 教育実習期間
十一日(木) 体育祭
(雨天時は十二日)

二十二日～二十六日 授業公開
(三四限)

七月

十七日(金) 終業式

八月

十八日(火) 三年授業開始
二十七日(木) 一・二年授業開始

九月

十九日(土) 文化祭

十月

二十三日(金) 芸術鑑賞(予定)

十一月

七日(土) 学校見学会

十二月

十日～十三日 二年修学旅行
(石垣島)

一月

二十四日 終業式

二月

十六～十七日 大学センター試験
二十八日(木) 一年合唱コンクール

三月

二十六日(金) 卒業式

三月

十五日(月) 終業式

母校クラブだより

サッカー部

今年度のサッカー部を説明しますと、部員は二十三名(二年 九名 一年九名 マネ 五名)という少ないメンバーで頑張っています。

平日は短時間の練習という、厳しい練習環境の中で、様々な工夫をしながら練習をしています。

若手のOB達も時間が空いたときには、グラウンドに顔をだし、練習に参加したり、OB戦をやるなど周囲の方々のサポートのおかげで、試合や遠征、フェスティバル等試合環境は充実しております。選手たちも厳しい練習の中、しっかりと練習に取り組んでくれているので体力・技術・メンタルとすべてにおいて四月よりはるかに成長していると感じています。

成績は、春は二回戦敗退でしたが、夏、新人戦ともに二回戦でのPK戦敗北という結果であり、チームに粘り強さを感じることができました。

やはりまだ桜塚といえば、野球が強いというイメージがある中で、桜塚はサッカーも強いと言われるように頑張りたいと思います。

そのためにサッカー部の理念である、学生としての本分をしっかりと果たした上で、サッカーも専念しようという取り組みのなかで来年度は春、近畿大会出場とリーグ戦 二部昇格をチームの目標に掲げてやっていきたいと思っています。

ダンス部

顧問 藤本 隆

ダンス部は三十五名の部員で、一階の渡り廊下や食堂前で毎日元気に練習しています。

四月の新生歓迎行事に始まり、六月の体育祭では、お昼休みを利用して体育館前でダンスを披露しています。

九月の文化祭が最大のイベントで、ダンス部が登場すると体育館は割れんばかりに最大の盛り上がりを見せます。ぜひ一度見に来てください。

十一月に行われる中学生への学校説明会でも、体育館のステージで二回ダンスを披露して毎年中学生を圧倒しています。

学校行事だけではなく、地域の行事にも積極的に参加しており、夏休みの蛭池納涼祭、十一月の豊中三中フェスタ、二月の豊中市高校生ダンスフェスタなどでもダンスを披露しています。

〇八年度は、桜塚高校の定時制高校の文化祭にまでも参加し、さらに日本テレビの「二四時間テレビ 愛は地球を救う」のオーディションにも参加しました。

このように、学校の内外のいろんな場所や機会に練習した成果を披露しています。何より元気なダンス部員の活躍を一度見に来てください。

バドミントン部の近況

顧問 田中 淑

現在三年生が引退したので、一年生女子八名、二年生男子一名、女子九名が元気に活動しています。今年の一年生は、ほぼ全員が経験者なので、練習の内容も例年よりも試合形式の練習を多くとっています。一番の悩みは、正式ゲームをするには狭い体育館と、体育館を使用できる機会が少ないことです。それと、バドミントンは少しの風も入ってはいけな

完全百パーセント室内競技です。暗幕を閉め、室内灯のみで行うことが普通であるスポーツです。たった五グラムのシャトルは少しの風があっても、打つのに決定的な支障をきたしますし、窓からの太陽光でシャトルが見えなくても困るので、このことが、他のクラブの顧問の先生方にも理解してもらえなくて、夏は特に、体育館を閉め切ると、蒸し風呂のように暑いし、とかく、お邪魔虫のクラブになってしまうようです。加えて、使っているシャトルは一ゲームを使えば直ぐにダメになります。一日すら持たないのです。ボールなら少なくとも一年は使えるでしょう。だから、日々使っている練習用のシャトルは、生徒の部費と、顧問が個人的に家庭婦人連盟で使っていたものをもらってやることで、まかなっている現状です。いろいろな困難な状況にも負けず、今年は秋に行われた公立校大会では、シード校と互角に渡り合い、ファイナルゲームまで、もつれ込む結果を残してくれましたし、府の大会でも、個人戦シングルスでは、複数が四回戦を突破。団体戦でも一部昇格に手が届くかというところまで来ました。終業式などでの表彰機会が増えているのは、うれしいことです。部員たちは、お互い仲が良く、新年の練習始めには、ぜんざい大会をしたり、楽しく活動しているクラブです。先生方もバドミントンをやってみてください。部員たちを相手にゲームで勝負しませんか。

ラグビー部

顧問 渡辺 宗次郎

昨年創部六十周年を迎えました。池田高校との統合後発足して早や還暦を迎えたことになりました。十数年前から定期戦を組み、交流試合を続けております。近年は部員不足のため成立が難しい年もありますが、部活動の運営に苦慮することが増えております。

日々の生活でとにかく自分本位の行動が増える中で、練習や試合を通して「自己犠牲の精神」を体感することは大へん有意義であるとともに、身体接触による本能の刺激や身のこなしなど得られるものが多い。現在部員は二十二名、マネージャー四名と充実している。単独チームで大会に出場することを第一目標とし、公式戦においては一回戦を突破するも、二回戦からシード校のいわゆる強豪校との対戦になってしまつて歯が立たないことが多い。

春シーズンは四チームによるリーグ戦方式の公式試合が控えており、勝ち越しを目標に備えたい。又、六十四期生の新入部員が大量に入部してくれることを期待したい。

演劇部の活動報告

顧問 松村 尚子

二〇〇八年度よりおかげさまで部員が

六名に増え、本格的な芝居が作れるようになりました。今年度の主な活動実績は、文化祭での一年生部員の脚本による公演と、二月十五日の北摂高校生演劇フェスティバルへの、顧問脚本による出場です。とりわけ後者の公演は、生徒たちにとつて大変有意義な経験になりました。

諸般の事情から十一月の地区大会への参加を見送ったこともあり、なんとか本格的な舞台での公演という目標を持たせてやりたいと考えていた時に、折よく北摂こども文化協会からフェスティバルのご案内をいただきました。池田市民文化会館小ホールを使わせていただけるという、ありがたいお話です。参加できるのは五校ということで、一次審査はシナリオのみ。約一週間で書き上げたシナリオを郵送し、待つことひと月、参加決定の通知が届いたときは本当にほっとしました。その日から稽古に一段と熱が入ったことは言うまでもありません。桜塚の生徒はみなそうですが、演劇部員たちもとても素直で熱心です。一度注意すると必ず次には改める、そんな飲み込みの速さには驚かされました。向上心を持つて主体的に行動することができ、本当にすばらしい生徒たちです。

演劇フェスティバルでは、全国大会常連校と競演させていただきましたが、各校から予想外のお褒めの言葉をたくさんいただき、今後へとつながる十分な手応えを得ました。スタッフの方々はすべてプロで、照明も音響も、もちろん舞台も客席も、最高の設備でした。この貴重な経験は生徒たちに大きな達成感を与えてくれ、臆せずチャレンジしてよかったと思っています。校長、教頭を始め、多くの先生方がご来場下さり、生徒たちを激励して下さいましたのもうれしいことでした。また、音響・照明など裏方を、箏曲部員など、演劇部員以外の生徒三名が手助けしてくれました。感謝の一言です。

全国常連の私立高校は大道具類を三トントラックで搬入されていましたが、我が校は顧問教師の乗用車のトランクで道具一式を運びました。いろんな意味でまだまだ差はありますが、そこは知恵と稽古でいつか名門私立を押しつけて、上の大会に行ってみようという野望を抱いています。今後とも桜塚高校演劇部に、あたたかいご指導ご支援をお願い致します。

〈演劇フェスティバルに

出演した生徒の感想〉

初めて北摂高校生演劇フェスティバルに出て、緊張しましたが、お客さんが笑ってくれて救われました。悔いの残る所もありますが、とにかく楽しんできたので良かったと思います。他校の芝居も見て、勉強になりました。また来年も出たいです！

音楽部

顧問 河村 光子

七十周年記念行事ではOB・OGの方達と一緒に歌わせて頂き、今後も頑張ろうと決意も新たにした音楽部でしたが、新入生の入部がなく部員ゼロというピンチを迎えています。

昨年の文化祭では、発表後に中学生と保護者の方がわざわざ声をかけて下さり、「今日は本当に良かったです。コーラスは人数ではないといつもいわれていたが、それが実感できる演奏でした。」とうれしい言葉を頂いたのですが、「歌うのは大好きだけれど、部活でやるのは…」という生徒もいます。少人数クラブはどこも部員確保に必死ですが、この会報が出る頃には、「新入生がたくさん入ってくれました」といえると思うなと思っています。

家庭科部

顧問 藤原 順子

現在部員は二年生が五名、一年生、五名の計十名で活動しています。ここ四、五年の中で最も多い部員数です。(引退した三年生は三名いました)

二十年度は、クッキー、フルーツタルト、カステラ、かりんとう、カスタードとチーズのタルト、ニョッキとグラタン(もちろんホワイトソースも、カスタードクリームも手作りです)、生チョコなどを学校内では作ってきました。放課後

の一時半という限られた時間ですが、頑張っています。

家庭科部では、平成十八年度より、豊中市教育委員会の主催する小学生対象の料理教室の補助ボランティアを行っています。平成二十年度は、十月二十五日（土）に、小曽根小学校でスクールおそねっこのみなさんと稲刈り＆米粉パンでバーガー作りを。十二月二十日（土）に、服部緑地ユースホステルで、米粉だんご入りおでんと稲藁で作る季節のお飾り作りを楽しみました。この活動は、リハール（子供たちに教えることを準備するもの）を含めて、毎回来しみな校外での活動となっています。

九月二十七日（土）と、二月十四日（土）には、豊中市と協力してボランティア活動を行っている他の高校生館と、ボランティアについて意見を交換する「ボランティアフォーラム」にも出席し、熱く意見を交わしました。九月二十七日（土）は大阪大学総合芸術博物館待兼山修学館のカフェテラスが会場だったので、マチカネワニを見る経験もし、ちょっとした遠足気分を楽しみました。これらの活動は豊中市の広報やボランティア情報誌TUNAGO、ケーブルTVネットなどで度々取り上げられています。文化祭は茶道部とコラボし、家庭科部で作ったじょうよう饅頭を、お点前に添えていただきました。

現在、豊中市の健康づくり推進課と一緒に、歯の健康維持を市内の幼稚園・保育園児に向けてPRする教材づくりもはじめており、家庭科部の活動はどんどん広がっています。

軽音楽部

顧問 鎌田 順子

ずぶの素人ながら顧問を引き受けて三年になります。

軽音楽部は、かつてフォークソング研究会といい、夏には発声練習からの本格的な合唱が行われていたこと、その後いろいろあって、階段下の倉庫でいいから練習させてほしいという生徒達の強い願いから現在の軽音楽部の活動が始まった

こと、などを昔を知る先生方からお聞きするたび、長い歴史の重みを感じています。

さて、今年特筆すべきは部員の増加です。年度当初に登録した人数は六十六名。三年生が引退し現在では四十八名ですが、これは吹奏楽部に次ぐ大所帯です。理由はよく分かりませんが、人気があるのは嬉しいことです。

しかし、一方、練習場所の問題があります。相変わらず階段下の倉庫しか練習場所がないので、バンド数が増えると当然練習時間が減ります。特に、張り切った入部してきた一年生には、思っていたように練習できないことに失望するものもいて残念に思いました。

また、クラブの性格上部員全員が揃って活動することがないので、部員間の結びつきはもとより緩やかですが、部員が増えたため、顔も名前も知らない部員同士が増えたようで、これも残念なことです。

この一年の活動は、四月の新生歓迎ライブから始まって、夏のスニーカーエイジーズ、秋の文化祭、三中フェスタと続きました。スニーカーエイジーズには、二年生に混じって一年生も出場し健闘しました。彼らは、来年はもっと練習して臨みたいと意欲的なので、活躍を期待したいと思います。

剣道部

藤田 偉太

桜塚剣道部は二年生二人、一年生八人で活動しています。平日は、定時制がある中、短い時間で効率の良い稽古をするため日々頑張っています。その上、指導してくださる先生が休日しかないため、自分たちでがんばっています。

十二月二十三日の北摂学校剣道大会では参加六十四校中、ベスト八になりました。

合気道部

私たち合気道部は毎週月曜日から金曜日までの放課後、体育館の柔道場にて活動しています。

主な活動内容は、受け身や呼吸法など

と呼ばれる基本的な動作の練習、その他にも杖や短刀などの武器を使用した技の練習です。時々、一対複数人での乱取形式の練習を行うこともあります。これは昇級試験と同じ条件で行い、本番の試験での合格を目指して練習します。しかし、柔道場は柔道部と共同で使用しているの大きなスペースが取れないため、乱取や大技の練習をするのはほとんどありません。

合気道部は一時は部員数が三人となり、廃部の心配もありましたが、今では計七人にまで増えて、安定した活動が行えるようになりました。しかし、現在男子部員が一人しかいないため、今後増えていくことを期待します。

合気道部が現在抱えている問題として挙げられるものは、教えてくださる先生がいないことです。そのため教則本などを利用し、自分たちで調べながら思い思いの練習をしています。やはり本を読んでも方法がわからない技や危険で高度な技も多く、あまり多くの技を練習することができず、レパトリが少ないのが現状です。

柔道部

顧問 山本 哲朗

全体的に高校柔道部は「3K」ということもあり人気低迷、中学校でのクラブ活動もほとんど行われていない中、公立高校の部活動はその維持すら覚束ない状況があります。

二〇〇八年度、本校柔道部は部員三年生五人、二年生四人、一年生七人でスタートしました。顧問木保先生の御退職により、柔道を指導できる顧問がいないという中、上級生を中心にクラブを引っ張っていかねばならない状況がありました。

大きなケガ人もせず、柔道場のガラスを二枚割るなどのこともありました。が、どうやら一年間のクラブ活動が終わりうとしています。何年かぶりに女子部員の加入があったことや大会参加の手続ミスにより三年生最後の大会に参加出来なかったことなどが思い出されますが、どうやら一年間を終えることが出来まし

た。顧問の先生方には大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、さらにこの一年間、クラブ活動のイロハから定着させなければならぬと思っています。

書道同好会

代表 二年 高田 光香

平成二十一年度で同好会を結成してから三年目に突入し、ようやく部に昇格しようとしています。人数は少ないですが、週に一回か二回活動しています。

主な活動内容は、書道展に向けての作品作りです。文化祭を含め、年に五回程度、書道展に出品しています。最近では、大阪府高校書道展で大型作品を出品したほか、学校の選択授業での作品も展示し、大阪市立美術館の広い展示場を埋めつくしました。

今年、私は世界的に有名な王羲之の「蘭亭序」を書きました。蘭亭序は、王羲之が仲間たちと楽しんで詩会をしたときに書かれたと聞いたので、私も楽しいことを思い浮かべながら書きました。酒に酔っていたようなので、字が崩れていたり、間違っていたりしましたが、字を見るだけで王羲之の気持ち伝わってくる作品でした。字を通じて、当時の詩会の様子や天候がわかるだけでなく、感動までも伝えられることを学びました。

これからは部への昇格に向けて、部員をもっと増やして、より活動的な部活にしていきたいです。そして、たくさん作品を通じて、字のすばらしさを知っていただきたいです。

女子バスケットボール部

副キャプテン 古賀 由香里

私達女子バスケットボール部は、プレイヤー八人、マネージャー一人の九人という少ない人数ですが、毎日一生懸命練習しています。今年度の夏に先輩方が引退し、寂しさが交じる中、自分達が一番上の立場になりました。最初は先輩方がいなくなり、ぼっかり穴が空いてしまったような感じで、自分達だけでやっていくのかとても心配でした。それと同時に、自分達が後輩を引っ張っていかなければ

ならないという責任感も生まれました。私達のチームは仲が良く、普段から一緒にいてとても楽しいメンバーばかりです。でも練習になると、お互い指摘しあえる仲間でもあります。

私達は今までたくさんの経験を、たくさん考えてきました。その多くの経験で感じたのが、「仲間の大切さ」です。どんなに辛いことがあっても、練習でうまくいかず、悩んでいるときも必ず自分の周りには一緒に支えてくれ、頑張ってくれる仲間がいます。私は一人じゃない。いつでも支えてくれる仲間がいる。仲間だけでなく、指導して下さる顧問の先生方、休みの日に指導に来て下さる多くのOGの先輩方、毎日朝早くからお弁当を作ってくれ、応援してくれる家族、多くの人達に支えられて今こうしてバスケットを続けることが出来ているんだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今、私達は四月のインターハイ予選での「近畿大会出場」を目標に、チーム一丸となって練習しています。私達は引退まであと少しですが、感謝の気持ちを忘れず、この仲間と共にどのクラブにも負けない強い絆を築き、青春を謳歌したいと思っています。

女子バレーボール部

顧問 津田 康裕

平成二十年度試合結果

三部大会	二勝一敗	三部残留
豊能大会	一勝一敗	予選敗退
近畿大会予選		一回戦敗退
大阪総体		一回戦敗退
公立校大会	一勝一敗	予選敗退
三部大会	二勝一敗	三部残留
新人大会		二回戦敗退

結果は散々ですが、日頃の努力は超一流ではないでしょうか。自分の壁を乗り越えようと日々悩み、日々闘っている。技術の分野でいうと、その成果が見えるのが「レシーブ」ですが、入学して引退するまでに、彼女たちの成長は明瞭にあらわれている。チームスポーツですから、個人の技術

アップだけでは結果が出ません。目に見えない部分での成長を促すためには、それ相応の熟成期間（練習時間）が欲しいところですが、桜塚でそれを望むのは如何ともし難いものがあります。

それらを含めて、すべての面でのチャレンジを続けていく気持ちを部員達が持つてくれば、違う面での目標達成になるのではないかと思う。数年前の栄光（近畿大会出場）がまぐれでないことを予感できる雰囲気少し見える最近である。

女子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

六十一期生は先輩、後輩の部員が多い中、五人で頑張ってきました。残念ながら大阪中央大会に進出することは出来ませんでした。三尾主将、平岡副主将、サイド杉田、右四五宗實、キーパー斎藤は個々にその責任を果たし、ハンドボール部の伝統を守ったと思います。

六十二期の代になり、夏の府大会で中央大会に進出しました。秋も期待されましたが、村尾先生率いる千里青雲高に惜しくも敗れました。しかし、五月のインターハイ予選ではきつと良い成果をあげるものと期待しています。

吹奏楽部

顧問 河村 光子

今年の五月六日、吹奏楽部は第二十回目の定期演奏会を迎えます。成人の年にあたるわけですが、創部から楽器を揃え、初めての演奏会への準備等、先輩方の多くのご苦労の飢えに今日があると思います。

ここで三年生が引退すると、次はどんなバンドになるかなと半ば心配もするのですが、不思議なことにしばらくすると桜塚サウンドになっていきます。

一明るく、伸びやかで、楽しさが伝わってくるようなサウンドです。

自主運営という面でも、本当に生徒達は大きく成長してくれそうです。これからもこの伝統を守り続けたいものです。ちなみにOB・OG吹奏楽団も発足し

て三年目となり、そろそろ独自の演奏会を考えているようです。「音楽大好き」の精神で共に頑張っていきたいものです。

水泳部

マネージャー 近藤 紗恵子

緑生い茂る初夏の候、皆様のご健康にお変わりはないでしょうか。現在の水泳部の様子について、報告させて頂きます。

昨年度の新人部員は、男子十三名、女子九名の二十二名でした。総勢四十名で始まったシーズン。一年生は戸惑いながらも先輩のあとをおいかけ、先輩方は自分の記録のために、日々練習に励みました。昨年度引退した六十一期生は、全員中央大会に出場しました。

合宿では、連日天候に恵まれ、コーチの厳しいご指導の下、選手・マネージャーともに成長しました。先輩、後輩の間の大きな壁もくずれ、部内の雰囲気はよりよいものになりました。

その後の夏休みの練習は、強い日差しの下、励まし合いながら、キツイメニューでもこなしていききました。その結果、高校対抗や記録会では、ベストタイムが続出しました。

そして、昨年度は十月の中旬からシーズンオフになり、筋トレやウエイトトレーニングが始まりました。初めは嫌がっていた人もいましたが、仲間と励まし合いながら、夏の練習と同様に、日々励みました。

更に、人数が多いので、勉強の面でも競い合い、教え合いながら、個々の苦手分野を克服しました。

先輩、後輩関係なく、男女の仲がよいところは、水泳部の良き伝統だと思っています。今年度も多くの記録を残せるように、練習に励んでいきます。

体操部

部長 関岡 咲葵

副部長 佐々田 樹

私たちは器械体操部です。一年男子三人、女子五人、二年男子四人、女子三人の合計十五人で毎日元気に大会に向けて練習に励んでいます。男子は床・鞍馬・

吊り輪・平行棒・鉄棒・跳馬の六種を、女子は床・平均台・段違い平行棒・跳馬の四種を練習しています。今年から体操経験がある顧問の先生やコーチの指導の下で頑張ったかきもあり、大会で入賞できるようなってききました。

府立校大会で、三年女子が種目別、段違い平行棒で二位、個人総合で九位に入賞しました。高校総体では、男子団体が六位入賞、新人大会では男子団体四位入賞、二年男子が個人総合で九位に入賞しました。

毎年三月に春合宿を行っています。最新の器具がたくさんそろっていて、九時から五時までと長時間練習が出来、とてもやりがいのある合宿です。最後に私たちは皆仲が良く、とてもアットホームな雰囲気の中、楽しく練習を行っています。そしてもうすぐ春季大会があるので、よりいっそう期を引き上げて皆で頑張っていきたいと思います。

卓球部

顧問 吉岡 靖人

一学年八クラスとなつてからは、部員が各学年二・三名で、小さくともキラリと光る存在であった卓球部ですが、六十一期、六十二期では入部者がなく、六十期生卒業の昨年春で、ついに部員ゼロとなつてしまいました。このままでは、廃部になつてしまふと感じ、部員獲得の取り組みをおこないました。

まず、顧問自らが、自治会主催の新人生歓迎行事のクラブ紹介で部の存在をアピール。次に、初心者が気軽に参加しやすいようにと、貸与用のラケットなども買いそろえ、四月当初から、興味を持った新入生を捕まえて、「ちよつとやってみよう」と、どんな誘っていききました。

まずはラケットで球を打って、おもしろさを感じてもらうことが大事だと考えたからです。そうすると、中学校の時の経験者やその友達などが、毎日入れ替わり立ち替わりやって来るようになりました。ただでさえ、授業の準備や打ち合わせなどで忙しい新年度初めの時期で、年の私の体も、高校生相手の運動で悲鳴

をあげていましたが、そんな中から、男子四名、女子一名の計五名が入部を決め、廃部の危機を脱することができました。それからは、高校で初めてラケットを握る初心者には、多球練習でとにかくたくさん球を打たせることを心がけ、五月末の中間考査の頃には、経験者何とラレーが続くまでに上達しました。そして、今は立派に自分たちで日々の練習ができるようになりました。自治会の「クラブ連絡会」に出席して予算配分の手続きをおこなったり、公式戦のエントリーや主将会議などに参加したりすること、一年生ばかりで教えてくれる先輩がおらず大変ですが、桜塚卓球部の伝統である生徒自身による自主的なクラブ運営の体制を、徐々に整えて行きつつあります。

公式戦でも、秋の大会では、団体戦で初めて一回戦を勝ち、個人戦でも三回戦あたりまで勝ち進む部員も出てきました。これからさらに、充実した練習をやり抜いて、勝利の結果を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

男子バスケットボール部

「六十一期生の三年間」

顧問 村川 義典

入学した四月当初一六人の部員が入部してきた。六十期生はわずか五人だったので、「これでまともな練習ができる。」と喜んだ。また、マネージャーも三人が入部し、にぎやかになった。五月から一・二年のチームになり、夏の公式戦では、一年からレギュラーとして出場できる恵まれた環境で活動が始まった。しかし、人数が多いと今までよりも一人当たりの練習量がかなり減ることもあり、部員のスタミナ不足が目についた。また、数人の退部者も出た。

二年生になり、最初の公式戦となるインターハイ予選では、三回戦まで勝ち進み、六十一期生がその原動力となった。インターハイ後、岡本主将・岩崎副主将を中心とした新チーム体制となった。能見コーチ、定時制の吉野先生の指導により、例年より多くの練習試合を組み、夏

の大阪総体に臨んだ。しかし、一回戦は勝ったものの試合内容が悪く、二回戦で強豪東北高校に百点ゲームをされ、完敗した。

この頃から、チーム全体の雰囲気が悪くなり、修学旅行から帰った翌日の試合でもあった豊中会長杯では散々な内容だった。しかし、その後ゾーンディフェンスを取り入れ、チームは立ち直り、十一月の公立大会では、練習試合でダブルスコアで負けていた刀根山高校と大接戦を演じ、惜しくも延長戦破れたが、成長の跡が見られた。

一月の新人戦では、一回戦でベスト四に入った池田高校と一回戦で当たり惜しくも敗れた。最後の試合となった三年四月のインターハイ予選でも接戦の末、摂津高校に破れたが、試合内容は非常に良かった。

このように公式戦では大きな成果は上げられなかったが、毎回スタートメンバーが替わる程、部員のポジション争いが激しいチームであった。しかし、試合に出られなかった者も多い中、誰一人腐らず、練習や瑞穂での合宿に一生懸命参加したことは、必ず将来いい思い出となることだろう。

最後に三年間裏で支え続けたマネージャーさん、ご苦労様でした。

男子バレーボール部

顧問 田中 聡

現在、本校男子バレーボール部は、選手二年生七名、一年生十名、マネージャー六名、部員総数計二十三名で活動しています。それを支えるスタッフとしては主顧問、田中聡（英語科）、腹顧問、津田先生（英語科）、上田先生（体育科）、神崎先生（体育科）、そして外部コーチとして、北岡弘さんと計五名でお世話しています。

バレーボールは今でも「メジャー」なスポーツの一つではありますが、一昔前とは違い、地域の各中学校では「男子」バレー部は次々となくなり、強弱問わず

今も活動しているのは、ほんの数校です。本校チームも数年前、部員五名の時がありました。しかし、その後部員数が復活していき、初心者主体ながら退部者をほとんど出すこともなく、毎日地道に練習を積み重ね、夏期合宿も復活、「結束」をさらに強め、その結果ついに昨春秋、二部リーグ戦で三連勝し念願の一部リーグ昇格を果たしました。

普段の練習風景を見てみると、バレーボールの技術面のみならず、チームとしての規律やあいさつ等まだまだという感もありますが、「夢」の近畿大会出場へ向けて着実にのびていって欲しいと願っています。

茶道部

私たち茶道部は、現在二年生三人、一年生二人という少人数で活動しています。先輩が引退した当初はこれで大丈夫かなと不安でしたが、少ないながらも楽しく活動できています。山本宗思先生が、とても優しく丁寧に指導して下さいます。今年度はまず六月に、池田高校の茶道部を招いて交流茶会を開催しました。またアメリカからやってきた学生と、文化交流の一環としてお茶会を開きました。どちらも緊張はしたものの、楽しく充実したひとときを過ごすことができました。九月の文化祭では、作法室でお手前を披露しました。今年初めての試みとして、家庭科部が制作したおまんじゅうをお茶菓子として提供することにしました。菓子の種類や個数、食品の安全性を考えたお茶菓子の出し方など、家庭科部の人たちと何度も話し合いました。両者の納得できるものを追求するのは大変でしたが、当日お客様にとっても喜んでもらえたので、努力したかいがありました。また一月には、OBを招いての初釜も行いました。

ただ今年度の活動の中で残念なことが二つあります。一つは部員数が少なく合宿が出来なかったこと、もう一つは例年参加させていただいている八月の利休忌の法要に授業日の関係で参加できなかったことです。

来年度新入生が入学してきたら、しっかり新歓活動をして茶道部をますます充実させたいと思っています。

美術部

副部長 鈴木 真理子

二〇〇八年度の美術部は、部員が三年生二人、二年生三人、一年生一人の計六人で活動してきました。活動内容は主に校外だと月の高校展、一月の芸文展、二月の旧第一ブロック展に向けての作品を制作しました。校内では、体育祭や文化祭のパンフレットの表紙や遅刻防止週間用のポスターなどを描き、校内の行事に貢献しました。特に文化祭では、シルクスクリーンを使って刷ったポストカードと手作りのマグネットクリップを販売し、好評でした。行事のパンフレットの表紙やポスターは、部員のおふれる個性が色濃く出ていました。

普段の活動は展覧会のための作品を描くことに費やされます。部員は少ないですが、和気あいあい楽しくそして真剣にそれぞれの作品と向き合っています。自分たちの作品が展示された展覧会には必ず部員全員が鑑賞に行きます。そうすることで同じ年頃の他校の生徒の作品から新たなインスピレーションを得ることができました。また展覧会の際の搬入・搬出の経験から、作品を描くだけでなく、展示方法や提出すべき書類の扱いについてもよく考えるようになりました。

来年度は現在、部員の少なさがネックなので、部員確保にもより力をいれたいと思います。さらに多くの作品を創るため鋭意努力していきます。

野球部

監督 和田 充司

硬式野球部は現在選手三六名、マネージャー三名の部員を有し、日々目標に向かって練習に励んでいます。

選抜高校野球の二一世紀杯大阪府推薦校に選んでいたのがちょうど一年前、今年のチームの面々の胸にあるのは、まずはその「去年のチームを超えること」

であろうかと思われます。

秋の大会は残念な結果に終わりました。三回戦上宮高校、前年秋にも対戦した桜塚が接戦を制してベスト一六進出のはずみをつけた相手です。今回もまた一点を争うゲームとなりましたが、延長十回ミスを連発してサヨナラ負け。リベンジを果たされました。

おそらく多くの部員にとって今までの野球生活で最大の悔しさを味わった試合だったと思います。

そして、この冬は、全員が毎朝七時十五分からのランニングを黙々と続けてきました。

二月十一日にはシーズンへ向けて気持ちを新たにすべく甲子園球場前に集合。その後、武庫川べりで恒例のマラソン大会を行い冬の練習を締めくくりました。

この原稿を書いている時点で、チームはぐっと縮んだバネのような状態です。桜の花が咲く頃に、あるいはセミが鳴く頃にバネが一気に弾ける姿を今頭に重く描いています。

陸上競技部

部長 宮島 章護

現在、陸上競技部は、短距離二十二人、長距離十五人、マネージャー五人の計四十二人で、顧問の野村先生、山上先生を筆頭に活動しています。

練習中はお互いに声を掛け合ったりして、部の雰囲気はとても良いです。部員全員が高い目標を持ち、日々熱心に練習に打ち込んでいます。昨年はこの日々の努力が実り、一〇メートルハードルと四〇メートルリレーという二つの種目で、念願の近畿大会に出場することができました。これによって、さらにチーム全体の士気が上がったように思います。

また、部員全員が学年に関係なく仲が良く、普段は笑いが絶えません。

陸上のシーズンは始まるのは春です。春になれば、たくさんさんの記録会が行われ、インターハイの予選も始まります。夏が近づいてくると、暑くて練習中に倒れそうになったりもしますが、夏の練習を乗り越えれば、体力的にも精神的にも強く

なれます。八月の上旬には、鳥取県での合宿があります。普段より練習の多い五日間になり、とてもしんどいですが、部員全員で過ごす五日間は、とても楽しいので良い思い出になります。夏が終われば秋になれば、合宿の成果が徐々に現れて来ます。秋は秋季大会があり、この大会が終われば短距離はオフシーズンに入り、長距離は駅伝のシーズンが始まります。冬が訪れれば駅伝が、淀川と大泉緑地と服部緑地で行われるので、長距離の部員にとっては、過酷な季節になります。これらの駅伝が終われば、長距離もオフシーズンに入ります。陸上部の一年はそのような感じでした。

今年は、昨年の好成績よりもさらに良い成績を残せるように、チーム全体でお互いを高め合いながら練習に打ち込んでいきたいと思っています。

箏曲部

部長 西森 尚

箏曲部は現在部員数が三人と少ないですが、週二日の活動日は頑張つて練習しています。週二日のうち一日は専門の先生に指導して頂けるので、初心者でもすぐに弾けるようになります。

四月のクラブ紹介では、毎年新入生の前で演奏します。できるだけ多くの人に箏へ興味を持ってもらえるように演奏しました。毎年文化祭では中庭と体育館で演奏します。中庭は美しい日本庭園の造りで、その中で浴衣を着て弾くと、とても心が落ち着きます。体育館の舞台は、きちんとした舞台で弾く大きな発表の場で、たくさんの方に聞いて頂けるので、とても良い機会です。短い演奏時間ですが、やりがいがあります。文化祭が終わると中学生の学校見学会があります。中学生の皆さんの前で弾き、さわってもらったりします。なんだか弾くのが難しそうな箏ですが、ほんの数分ですぐに弾けるようになります。楽譜も漢数字で書かれています。意外と簡単でわかりやすいです。「箏って弾くのももしろい」と思ってもらえるとうれしいです。そして今年の二月には三年ぶりに芸文祭に出場

しました。私にとって一番大きな行事でした。曲は「八千代獅子」という古典的な曲です。この芸文祭に向けてたくさん練習をしてきました。今まで経験したことのない大きな舞台で、たくさんの方の前で演奏するので、緊張や不安もありましたが、全員一丸となって演奏させて頂きました。とても貴重な経験となりました。これを機に、また毎年芸文祭に出場出来たらいいと思います。

箏は魅力的で楽しい楽器だなと弾けば弾くほど思うようになりました。これからより多くのひとに箏を弾く楽しさを知ってもらいたいと思います。箏曲部は部員同士とても仲が良い、楽しい部活です。少しでも箏に興味を感じたら、ぜひ気軽に見学に来てください。これからも箏のきれいな音色の中で楽しく活動できる部活であってほしいと思います。

硬式テニス部

副部長 山崎 紀夫

僕達硬式テニス部は男女とも仲良く一生懸命部活を頑張っています。朝や昼休みも強くなるために練習して、月曜日の放課後は延長をして頑張っています。休日には、コート四面を全て使って練習し、基礎的なことから、試合形式を行ったり、時間にゆとりのある時は模擬試合をして、自分の現時点での実力を見るなどしています。顧問の先生のおかげなどで、一〜二ヶ月に一回は他校との交流試合をやらせて頂いています。その時は、自分の持っている力の全てを出して闘い、勝った時は皆で喜び、負けた時は、なぜ負けたのか、どこを直せばいいのかなどを思考し、顧問の先生に相談し、次回からの練習で反省点を直せるように頑張っています。このようなことをしながら、本番の試合で良い結果を残すことを目的とし日々努力しています。又、単に勝つだけでなく、自分の納得がいく形、例えば、相手のミスだけで勝ったという形は余り嬉しくありません。そうならないで、自分の全てを出しきる事ができるような試合をするために日々頑張つて練習をしています。

投稿記事

高校八期「谷 茂男氏」叙勲受賞

高校八期 岩藤 能明

高校八期の谷 茂男氏が、多年にわたる地方自治の振興発展及び各種団体の活動に寄与された功績により、平成二十年春の叙勲において「旭日小綬章」受章の榮譽に浴されました。このお慶びをお祝い申し上げ、同氏の益々のご活躍を祈念してここに報告申し上げます。

ラグビー部OB表彰のご報告

ラグビー部顧問 渡辺 宗治郎

本校ラグビー部は昨年創部六十年を数えました。OB諸氏には常々物心共にお世話になっております。なかでも近くにお住まいの8期生、野田寛さんには商店街で「暖簾庵」を営まれて、我々も様々な情報をいただいております。



寄贈のトンボ

先日は、野田さんの発案によって常連客の粋な大工さんが自ら手作りで、それは立派な木製トンボ（グラウンド整備用具）を十本も寄贈していただきました。毎日曜日には、豊中ラグビースクールの指導員として、また

大阪府ラグビー協会においても、クラブ委員として永年にわたって活動されて功績をたたえられ、二月の協会八十年式典で表彰されております。

今後ますますお元気で我々をサポートしていただけることをご期待申し上げます。

弥栄

倉田順雄先生をお見送りして

旧職員 水田 紀久

本校国語科の大先輩、倉田順雄先生が昨年五月十三日早朝にお亡くなりになったことを、その五日後の尚和会総会で始めて伺った。昨年暮、心筋梗塞で緊急入院され、再度ご入院後、たつてのご希望で残花の頃ご帰宅、そして若葉の薫る好季のご還浄であった。享年九十四。法名を教導院釋順徳と申し上げる。年一度の教職員OB会には必ずお見えだった元気なお姿は、いまや亡い。

先生はわたくしより丁度ひと周り上の大正三年（一九一四）寅歳で、旧庄内村洲止（豊中市島江町）のお生まれ。父上は村長も勤められた。旧制北野中学（高校）では森繁久彌氏と同級で、テスト中、こっそり答案を見せてくれとつつかれて弱った、とおっしゃった。伊勢の神宮皇學館（現皇學館大学）にご進学。後年紹介頂いた同期の館友、住吉大社宮司奥野茂寿氏にはわたくしも御文庫の閲覧で大変お世話になった。恩師先輩に手紙をさし上げる際には、ご本人が読み易いように歴史のかなづかいを用いる旨、先生はおっしゃった。

出征中は師団副官も勤められ、シンガポール講和の洋画では山下奉文大將

の何人目かがぼくだ、と承った。旧制豊中中学（高校）では国漢と教練も教えられ、早くに逝った桜塚での同僚、長澤俊一、國本照男両先生（ともに国語科）は中学時代、先生の教え子であった。戦後、学制改革で野曾原斌（国語）、武田国彦（英語）、肥塚正太夫（数学）の諸先生と桜塚にお見えになり、学年主任、生活指導、図書教養の各部長、また運営委員長として実に親切で面倒見の良い親分であられたが、戦時中のご経歴と社会風潮とのギャップは、先生にとって生涯重いお荷物だったようだ。「人から、君の腰にはまだ軍刀がぶら下がっているようだ、と冷やかされる」と苦笑なさっていた。

わたくしは教員生活の半ば近くを、桜塚で過ごさせて頂いたが、OB会の解散した平成十六年（二〇〇六）の暮れに、同じ大正十五年（一九二六）寅歳組の勝間俊一（化学）、富山敏郎（数学）両先生に揃って先立たれ、いままた十二歳兄貴の倉田順雄先生をお見送りするめぐり合わせになった。まことに烏兔匆匆、往時を偲び、うたた寂寥の感に堪えない。

敬礼合掌

尚和会校内理事より

高三十五期 桑田 誠

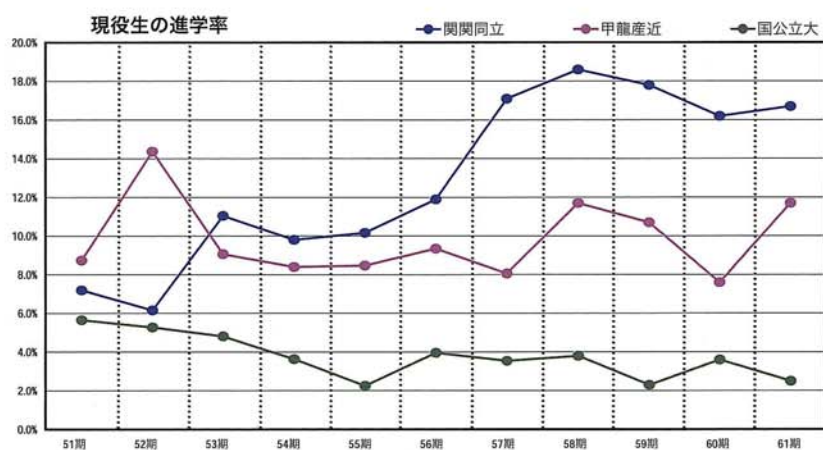
昨年度は三十五期の同期会を微力ながらお手伝いさせて頂き、楽しいときを過ごさせて頂きました。また、初めて桜塚で卒業生を送ることができ、大変よい一年を過ごすことが出来ました。

今年度は六十四期の担任として頑張りたいと思います。

この二年間の進路状況について

進路指導部長 望月 浩平

今春卒業の六十一期生は、担任団を初めとした入学以来の継続的指導が実を結び、多くの者が希望進路を実現しました。入試直前の年末年始や一月二月には、例年以上の三年生が進路指導室に集まり、進路相談・赤本貸出・自習室として活用しました。また後輩に對し、問題集赤本多数を寄贈し、また心のこもったアドバイスを残し「進路便り」として伝える事もできました。在校生もこういう熱い気持ちを継承し、自分の将来を真剣に考え、自ずと納得のいく進路が実現していくものと確信しています。及ばずながらですが、指導支援を重ねていくつもりです。



二〇〇八・二〇〇九年度

入試合格者数（浪人含む）

大学	2008	2009	主な私立大学	2008	2009
国立大学	1	1	関西大学	64	58
大阪教育大学	1	1	関西学院大学	27	63
大阪府立大学	2	2	同志社大学	7	16
神戸大学	1	1	立命館大学	19	23
兵庫県立大学	2	2	甲南大学	23	33
奈良教育大学	1	1	龍谷大学	34	35
京都市立芸術大学	1	1	京都産業大学	4	
鳥取大学	1	1	近畿大学	54	86
和歌山大学	1	1	武庫川女子大学	16	22
富山大学	1	1	追手門学院大学	13	13
山口大学	1	1	甲南女子大学	18	28
筑波大学	1	1	関西外国語大学	29	12
神戸市看護大学	1	1	大阪工業大学	9	17
金沢美術工芸大学	1	1	大阪経済大学	18	13
京都教育大学	1	1	早稲田大学	3	
兵庫教育大学	1	1			
香川大学	1	1			
熊本大学	1	1			
高知工科大学	1	1			



尚 和 会 通 信

一、尚和会会報有料制について

今、お読みの尚和会会報は有料制です。年間千円（同封の振込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930331860加入者名「尚和会」宛お願いします。会報発送者・会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

二、尚和会会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

三、「同期会開催支援奨励助成金制度」

・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業五周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。（申請書用紙は会長宛請求のこと）

・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。
なお、同期会に対する助成は同じ期

が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。
在校生諸君の活発な活動を期待します。

今年「同期会開催支援奨励助成金」を受ける事の出来る期

高女3 高女8 高1 高6 高11 高16 高21
高26 高31 高36 高41 高46 高51 高56
高61
定4 定9 定14 定19 定24 定29 定34
定39 定44 定49 定54 定59

各 期 連 絡 先

期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話
女1	越 水 ユ リ	06-6852-8755	高24	梅 田 純 子	06-6329-6309	高57	大 藪 純 平	072-724-1051	定37	渡 部 二 郎	
女2	北 川 富美子	0798-74-3024	高25	小 合 孝 子	06-6855-3604	高58	渡 辺 晋 次	078-411-2808	定38	中 村 保	
女3	菅 野 万喜恵	06-6852-0020	高26	松 田 俊 一	06-6841-1049	高59	只 野 正 隆	06-6850-8735	定39	森 本 真裕美	06-6849-7859
女4	永 井 徳 子	06-6942-1968	高27	戸 田 緑	06-6875-7718	高60	豊 島 将 太	06-6336-5300	定41	奥 田 康 弘	06-6388-7339
女5	加 藤 恵 美	06-6872-6248	高28	乾 憲 隆	0797-74-4331	高61	木 本 良 弘	06-6855-5315	定42	前 川 良 司	072-722-5896
女6	青 木 操 子	06-6843-2552	高29	山 澤 健 二	06-6399-7677	定1	吉 本 喜代子	072-722-2075	定43	山 田 辰 典	06-6333-1785
女7	黒 田 長 子	06-6854-5432	高30	木 村 慶 子	06-6853-9213	定3	永 井 博 純	072-759-2971	定44	大 塚 俊 二	072-762-7873
女8	中 村 陽 子	06-6844-1570	高31	佐 藤 稚加子	0797-87-8357	定6	中 川 豊	06-6349-8965	定45	青 木 宏	06-6332-5370
高1	安 達 良 子	072-721-3901	高32	池 田 紀 和	06-6332-3324	定7	岸 本 弘	072-734-1237	定46	岡 田 智 寛	06-6333-5996
高2	北 野 敦 子	0797-88-2676	高34	中 谷 和 宏	06-6864-3181	定8	田 邊 昭 夫	06-6843-0952	定48	野 口 光 弘	
高3	谷 田 探 成	06-6314-0550	高35	川 嶋 道 代	072-729-6099	定9	中 本 賢 一	06-6854-2078	定49	大 鳥 正 登	072-761-1036
高4	中 右 吉 信	06-6855-5372	高36	安 藤 昌 博	06-6832-7930	定11	永 井 敏 輝	06-6852-0333	定50	福 永 敦 哉	06-6862-7542
高5	宮 口 一 郎	06-6852-4859	高37	高 崎 健 治	06-6623-6801	定12	笹 部 修 造	06-6852-0475	定51	徳 留 三 香	06-6866-6994
高6	北 まち子	06-6865-3131	高39	須 崎 康 広	072-752-6441	定13	中 岸 澄 江	06-6843-5737	定52	本 郷 美由紀	06-6841-0860
高7	関 高 明	0797-88-5603	高40	堂 前 直 子	06-6336-7265	定14	杉 本 土 生	072-728-1497	定53	山 下 武 徳	06-6857-3239
高8	森 田 司 朗	06-6872-3329	高41	坂 口 大 介	06-6303-4831	定16	森 島 作 蔵	06-6857-6219	定54	山 本 雄 助	072-724-2347
高9	安 浦 杲	072-737-0068	高42	谷 尾 紀 江	048-946-3601	定17	前 田 政 治	06-6855-8451	定55	高 橋 秀 彰	06-6852-4438
高10	唐 渡 吉 則	072-752-4548	高43	横 尾 さち子	06-6854-0026	定18	中 島 健 二	072-722-8153	定56	越 智 康 裕	06-6868-2275
高11	吉 田 和 久	06-6857-0352	高44	河 野 太	06-6476-1102	定19	飯 田 悦 弘	06-6855-3440	定57	石 村 真 実	080-3113-0635
高12	斎 藤 嘉 明	072-738-4647	高45	田 中 紀 雄	06-6841-6013	定21	堀 健 次	06-6878-5694	定58	上 山 良 太	072-751-1035
高13	細 川 和 彦	06-6849-6879	高46	榎 本 誉 士	06-6841-8531	定22	西 田 惣 一		定59	宮 谷 友 浩	072-752-1244
高14	佐 藤 勝 哉	06-6849-0663	高47	細 見 竜 徳	06-6334-1237	定23	豊 隆 司		修1	矢 野 和 美	
高15	大 畠 光 昭	06-6841-8135	高48	二階堂 亮	06-6352-1468	定25	大 町 裕 次	06-6862-7083	修2	能 勢 優 紀	06-6841-2919
高16	中 務 公 子	06-6858-4509	高49	小 平 守 敏	06-6393-2804	定27	稲 井 幸 雄	072-728-0955	修3	畠 山 貴 徳	072-728-1150
高17	福 本 育 馬	06-6333-6636	高50	田 中 里 枝	06-6848-6031	定28	真 下 保	06-6385-6190	修4	竹 田 大 河	06-6841-4820
高18	北 川 悟 司	06-6843-1336	高51	香 川 武 男		定29	寒 川 悟		修5	三 島 祐 貴	072-722-7482
高19	志 賀 順 子	06-6852-0968	高52	田 中 啓 子	06-6848-6031	定30	大涯池 みゆき		修6	野 口 雄 樹	06-6843-7595
高20	郡 守 男	079-565-2627	高53	井 上 敦 智	072-751-6055	定31	木 原 純	072-730-6756	修7	田 中 一	06-6833-6671
高21	山 本 登志恵	06-6924-3544	高54	森 田 浩 史	06-6866-0667	定32	市 村 孝 浩		修8	足 立 亘	06-6855-3538
高22	杉 山 茂	06-6841-4119	高55	高 畑 貴良志	072-727-2640	定34	清 水 美 佳	072-761-3323	修9	奥 田 一 樹	090-6974-6331
高23	後 藤 保 二	06-6373-7380	高56	亀 井 み え	06-6393-1017	定35	武 藤 直 美	06-6843-5357			

尚和会 平成20年度決算報告書・21年度予算						
[収支決算]			(自:平成20年4月1日 至:平成21年3月31日)		(単位:円)	
科 目		予 算	決 算	差引過不足	備 考	21年度予算
収入の部	入 会 金	1,284,000	1,280,000	▲4,000	20年3月卒業 320名(全日 278名、定時制 42名) 21年予定者354名	1,416,000
	会 報 代	2,000,000	2,023,000	23,000	2023人分	2,000,000
	尚和会協力金	2,500,000	3,126,000	626,000	1348件	2,500,000
	広 告 収 入	60,000	30,000	▲30,000	1件	60,000
	利 息 収 入	60,000	78,375	18,375		35,000
	雑 収 入	10,000	38,500	28,500	記念誌代 (@1500×7 @1000×28)	10,000
	計	5,914,000	6,575,875	661,875		6,021,000
支出の部	事 務 費	100,000	89,457	10,543	事務用品、会員名簿管理費、印刷・宛名シール費	100,000
	備 品・雑 品 代	50,000	89	49,911	洗剤	50,000
	通 信・交 通 費	350,000	194,864	155,136	ハガキ代	300,000
	会 合 費	400,000	322,501	77,499	理事会・評議員会及び各委員会会合費	400,000
	会 報 発 行 費	2,500,000	2,528,886	▲28,886	10,500部(20頁)、発送代8,835部、振込用紙他	2,500,000
	総 会 費	700,000	595,052	104,948	総会・懇親会(参加者100名)	700,000
	東京支部援助金	150,000	150,000	0		150,000
	同期会開催助成金	500,000	550,000	▲50,000	高女1.2.7期 高5.15.29.34.55期 定9.13.18期	500,000
	慶 弔 費	100,000	41,480	58,520	学校行事祝儀他	100,000
	卒業生記念品代	150,000	150,000	0	卒業証書入れ(バインダー付き)	150,000
	現役クラブ報奨金	50,000	65,000	▲15,000	全日陸上部近畿大会、定時制陸上部全国大会	100,000
	高校援助協力費					※1,500,000
	ホームページ作成費				継続的なので品目を加える	0
	雑 支 出	300,000	244,963	55,037	振込手数料(郵便214,760円)ほか	300,000
	予 備 費	500,000	0	500,000		500,000
計	5,850,000	4,932,292	917,708		7,350,000	
1. 差引当期収支		64,000	1,643,583	1,579,583		▲1,329,000
2. 前期繰越金		1,339,078	1,339,078			2,982,661
3. (1+2) 合計		1,403,078	2,982,661			1,653,661
4. 尚和会積立金等繰入						
5. 尚和会積立金等取崩						
6. 次期繰越金			2,982,661			

※印については、別途「平成21年度予算の補足説明」を参照。

[貸借対照表] (平成21年3月31日現在) (単位:円)			
借 方		貸 方	
現 金	112,101	預 り 金	12,000
郵便振替口座	523,728	尚 和 会 積 立 金	16,000,000
通常郵便貯金	848	尚和会事業積立金	11,000,000
普 通 預 金	2,482,457	次 期 繰 越 金	2,982,661
定 期 預 金	17,577,527		
定 額 貯 金	9,298,000		
合 計	29,994,661	合 計	29,994,661

以上、決算報告いたします。 決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成 21年 3月 31日		平成21年3月31日	
財務担当副会長(高29期)	山澤 健二	⑨ 会計監査(定13期)	中岸 澄江
会 計(高16期)	中務 公子	⑨ 会計監査(高20期)	郡 守男
会 計(高29期)	旭 直子		

平成21年度予算の補足説明

※「高校援助協力費」

(1) 母校塀、国登録有形文化財指定記念銘板制作設置費	700,000円
(2) 同上リーフレット作成費	300,000円
(3) 尚和会々報永久保存の為のアーカイブ化	100,000円
(4) 母校校舎垂れ桜養生費(H20・21年度分)	400,000円
計	1,500,000円

平成21年度 評議員会及び理事会予定表

評議員会		理事会	
第1回	H21年9月5日(土)	第1回	H21年5月9日(土) 尚和会議室
	会費制 会場未定	第2回	9月5日(土) 会費制 会場未定
第2回	H22年1月17日(日) 新年評議員会	第3回	11月7日(土) 尚和会議室
	会費制 会場未定	第4回	H22年1月17日(日) 新年理事会
第3回	H22年3月27日(土) 尚和会会議室	第5回	3月27日(土) 尚和会議室

尚和会平成21年度役員紹介



副会長
(行事担当)
高15期
上田 幸子



副会長
(総務担当)
高11期
吉田 和久



副会長
定8期
田邊 昭夫



会長
高15期
大畠 光昭



会計
高29期
旭 直子



会計
高16期
中務 公子



副会長
(財務担当)
高29期
山澤 健二



副会長
(広報担当)
高28期
乾 憲隆



東京支部長
高11期
大岩 昭夫



会計監査
高20期
郡 守男



会計監査
定13期
中岸 澄江

以上の方々が新役員として平成20年3月29日開催の第5回理事会、第3回評議員会において選任承認されました。

個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 利用の目的について
 - ①尚和会会報の発行・発送
 - ②各役員会開催案内等の告知文書の発送
 - ③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
 - ④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合
- ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。
- 尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。
- 尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。
- ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。
ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。
 - ・法令の規定による場合
 - ・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。
- 個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問合せ先
〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局
TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825

特集

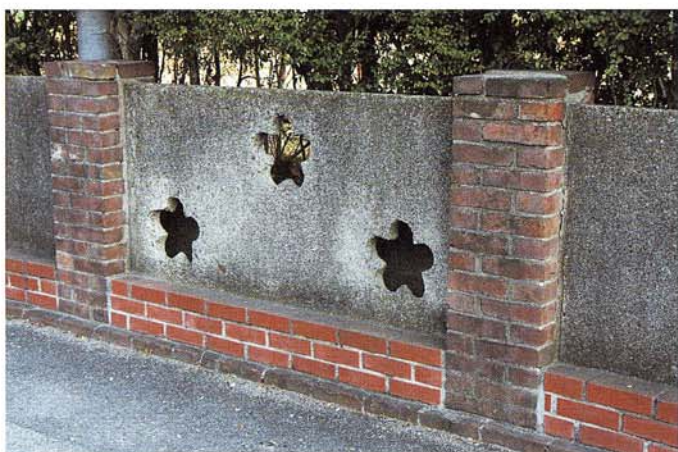
桜塚高校の北側に残る塀が、
国の登録有形文化財に認定

全日制社会科 村川 義典

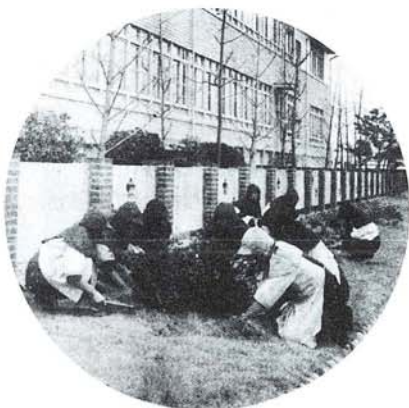
平成二十一年一月二日付けで、文化庁より桜塚高等学校塀（旧豊中高等学校校周塀）を国の登録有形文化財として、平成二十一年一月八日に登録した旨の通知がありました。

昨年より、豊中市教育委員会と、旧豊中高等学校校創建当初から残る北側の塀及び東南部に残るコーナー部の塀を、貴重な文化財として登録有形文化財にできないものかと協議し、現状を実測調査し、資料を作成して登録申請を行いました。その結果、昨年十二月の文化財審議会にて承認され答申されました。

国の登録文化財になる条件としては、①築後五十年以上経過していること。②他に類を見ない後世に伝えるべきもの。の二点があります。こうしたことから、昭和十三年（一九三八年）の建設当初から残っており、豊中高等学校の校章や桜塚という地名に由来した桜をかたどった他に例を見ないデザインであることから、要件を満たし



校舎南東に残る塀の跡



戦時中の西塀の様子

ていると判断されました。

昭和四八～五四年にかけて、新校舎建設にともない旧校舎が取り壊されましたが、北塀と東南コーナー部の塀は壊されずに残されました。

煉瓦柱とコンクリートモルタルを交互に組み合わせた塀で、柱は、厚さ五、五cmの煉瓦を十六段高さ一一二cm、幅三十五cm、奥行三二cmに積み、煉瓦の一部には煉瓦会社の刻印をもつものがいくつかみられ、大阪窯業（堺市）・岸和田煉瓦（岸和田市）・讃岐煉瓦（香川県観音寺市）のものと確認できました。

塀は、高さ九十cm、幅一七五cmのコンクリートモルタル（数本の横向きの鉄筋入り）に直径約三十cmの桜をかたどった穴を下部に二つ、上部中央に一つの計三つ配置しています。煉瓦柱との間に中空状に配置され、下部十五cm、上部七cmの空間があります。柱を境に桜の穴のある塀とない塀を交互に配置し、東から四三枚、旧校舎正門部分十二・五mの空間を置いて西に二一枚の計六四枚が残存しています。旧校舎正門部分も校舎建替え時に東や西の塀の部材により埋められていたが、一九九五年の阪神淡路大震災で倒壊し、現在は下積み煉瓦のみ残っています。

ます。

開校時から残る唯一の建造物であり、昭和初期でも類例を見ない学校の地名・豊中高等学校校章にちなんだ桜のデザインで、貴重な近代文化財としてこれからも大事に保存していきたいものです

文化財登録記念銘板の設置のお知らせ

尚和会では学校に残る塀が文化財の登録認定を受けた事を記念して「銘板」の設置を進めています。

文化財登録認定プレートを埋め込んだ記念銘板を旧正門前のバス停付近に設置する予定です。

詳細につきましては総会にてご報告いたします。

文化庁の登録情報

名称

大阪府立桜塚高等学校塀（旧豊中高等学校校周塀）

構造

煉瓦造及び鉄筋コンクリート造、総延長百三〇m

年代

昭和十三年

所在地

大阪府豊中市桜塚四一一

登録基準

国土の歴史的景観に寄与しているもの

備考（調査）

煉瓦は岸和田煉瓦と大阪窯業の製品

解説文

校地の北辺及び南東隅に建ち、総延長百三〇mである。高さ一・一m煉瓦造の柱の各間に鉄筋コンクリート製のパネルを設け、パネルには一間おきに桜花を象った透かし孔を三ヶ所開ける。高さも抑えめで、もと女学校らしい穏やかで気品のある佇まいを見せる。

登録情報

原簿記載年月日…平成二十一年

（二〇〇九年）一月八日

官報告示年月日…平成二十一年

（二〇〇九年）一月二日

以上



同期会報告

豊中高女一期生会

幹事 一同

日時…平成二十年十月十九日
場所…ホテルアイボリー

十月十九日でした。お会い出来るだけでしあわせな時が流れていました…

写真を見てみると昔?のことまで思い出して、一期生でよかったと、しみじみほのぼのとした気分になるのが不思議ですねえ…

ことは尚和会から五年毎に頂けることになった「同期会助成金」が五万円でしたので記念写真を写真屋さんをお願いしたことで、ありがたいことです。



ドタキャンのお二人からは、相応の会費を送って頂きました。来年五月の一期生会にはぜひ元氣そうにして、きつとお会いしたいと思います。

豊中高女卒業六十五周年記念二期会

高女二期 北川富美子

日時…平成二十年七月八日(火)
場所…ホテルグランヴィア大阪

出席者 二十九名

梅雨明けも近い日、今にも降り出しそうな中、定刻より早く懐かしい、ホッとしたお顔が揃いました。多分足許の悪さにかかる時間も加えて、ずいぶん早く自宅を出て下さったのだと思います。

記念写真撮影のあと、二十一階「蘭の間」に於いて開会しました。三年前に傘寿記念の会がありましたので、その後の会員の近況、異動などについて



報告があり、ご逝去された方、物故の諸先生のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

乾杯のあと、ホテル側の配慮に依る、私共にピッタリのご馳走が次々と運ばれると、皆様の表情もやわらいで、思い出話、現在の様子、欠席者のお便りなど話はずみしました。五年後に卒業七十周年を迎えますが、丁度米寿の歳と重なります、その話が出ますと、今回参加出来てよかった! それだけで感謝していたのに、ダブル寿だと聞くと、次回も是非参加したい! と新しい目標が出来、心身ともに気をつけて、その日に向かって今日出発します。企画して下さいる日を楽しみにしています、との事でした。

散会の頃には雨も止んでいました。皆さま次にお会い出来る日まで、お身体を大事に、ゆったりお過ごし下さい。

豊中高女四期生「最後の会」

高女四期 酒井百合子

平成二十年五月二十三日、高女四期生の最後の会は、ホテル阪急エキスポで行われました。終戦の年に卒業し、戦後の貧しい暮らしの世の中に明かりが見え始めた昭和二十八年の第一回から、毎年続けてきた四期生会も、皆が八十歳になったのを機に幕を閉じました。

当日は晴天に恵まれ、六十名が心弾ませて集まりました。近畿以遠からは十一名も、最初で最後の出席の方もあり、懐かしさ、嬉しさ、いっぱいの方々が歓声が上がりました。

写真撮影の後は、九つの円卓を囲み、開会の挨拶に続いて最多出席の河



村さんの音頭で乾杯、美味しいフルコースを味わいつつの語らい。

二次会では、大久保さん作成のパワーポイントによるプレゼンテーション映画で、四期生会半世紀余りの歴史を綴った写真や、逝去された方々のメモリー等が映し出されました。

その後は、出席者を順にインタビュ―しながら近況などを語って頂き、楽しさに時の経つのも忘れましたが、終わりに「別れの歌」を合唱して別れを惜しみ、大久保さんの思い溢れる挨拶で最後の会を閉じました。

引き続き四時からは、ホテルの用意したバスで、二回に分乗して、母校を訪問しました。車窓からの眺めは、何処も此処も様変わりで、今浦島の様、学校から鉄道を担いではる開墾畑まで歩いた道も、まったく判りませんでした。

学校では、遅い時間にも拘わらず西郷正人校長先生がわざわざ出迎えて案

内をして下さり、恐縮感謝いたしました。すっかり変わってしまった学校は、校舎の南側に建て替えられ、その中庭に移された西の恵風苑の石組みや、東の恩露園、そして外壁の一部に残る透かし桜花入りの古びた塀に昔の名残りを留めるばかりでした。

過ぎし六十余年の歳月と時代の変化が身に迫り、四期生会の終わりを惜しむ心にキリが付き、明日からの日々を老いの身ながらしっかりと生きていかねばと考えさせられました。

最終回は大盛会で、皆さん大変喜んで下さり、幹事一同も三年越しに会合を重ねて準備してきた甲斐があったと、有終の美を飾れてホッと致しました。

尚、四期生会の残金につきましては、皆様方のご意見を参考に幹事一同でとりまとめ

◎ 日本ユニセフ協会

◎ あしなが育英会

に寄贈致しましたことを謹んでご報告いたします。

四期生会幹事

大江 悦子	大久保慶子
神野緋佐子	酒井百合子
田畑 照野	豊田 佳子
長岡 利子	永井 徳子
本多千代子	山川 良子

豊中高女七期生六十周年有志の会報告

世話人一同

日時…平成二十年七月七日(月)

場所…ホテルアイボリー

梅雨の中休み、快晴に恵まれ高女七期生は卒業後六十周年の「お祝い会」を有志で開催しました。



「高女七期会」は平成十九年「喜寿の会」で終了しています。けれど平成二十年春に尚和会より六十周年の「助成金」を戴きましたので、前年のアンケートを見直し同期会存続希望者を主にして近郊の方々にも案内し集まりました。

当日は七夕さまで、開会に先立ち童心に返り色紙短冊に願いをしたため、笹に飾りつけて会場に華を添えました。

「命 老いも若きも大切に」
「年金 これ以上減らさないで！」
など高齢者らしい言葉も見受けました。

開宴にあたり亡き恩師、旧友を偲び黙祷を捧げ、藤井妙子さんの挨拶に始まり続いて世話人代表より本会の経緯について説明の後に乾杯し、食事歓談に移りました。

旧友を温めつつ近況を語り合う中で石田（山崎）マリ子さんご本人から新

風書房企画「私の戦争体験」に応募され入選の朗報がもたらされました。この快挙に拍手で称賛を送りました。

楽しい時の過ぎるのは早く記念写真を撮影し、最後にホテルの庭に出てスナップも撮りお開きにしました。

灰色の女学校時代を送りました私共には、昭和の激動を耐え抜いた歴史があり名残りが尽きず、お開きの後もそれぞれに分かれて何時迄もお喋りが弾んでおりました。

この紙面をお借りし、エールを送りくださいました尚和会に感謝しますと共に、益々のご発展をお祈り申し上げます。

追記 石田マリ子さんの応募作品は新風書房「孫たちへの証言」第二十一集に掲載されています。

五期会 五十五年目の集い
世話人一同
日時：平成二十年十一月九日
場所：ヒルトン大阪

予定して居りました「喜寿の会」までには是非もう一度と云う声に押されて、今回は二ヶ月足らずの準備期間でした。催しの企画は元より司会進行表示すら作らないままの強行だったにも拘わらず、五十一名のご参加を頂き、ヒルトン大阪「金の間」の宴会より、二階「チエツカーズ」での二次会終了まで、延々五時間余りの長丁場を、何かとご不満も有ったとお察しする中を、皆様方の談笑だけで繋いで下さり無事に終わらせて頂きました事は、世話人一同感謝に耐えません。

今回はまた趣きを変えて皆様をお迎え出来ればと楽しみにして居りますので、何卒ご健康にはご留意され、良き

日々をお過ごし下さいますようお祈り致します。取り敢えず御礼とご報告をさせて頂きます。

高校十五期 卒業四十五周年記念同期会
十五期会長 大島 光昭
日時：平成二十年十月十八日（土）
場所：ヒルトン大阪 金閣華の間
出席者 七十四名

我が十五期会の同期会は、卒業二十二周年目の一九八五年に第一回目を、それ以降五年毎に集まり、今回で六回目の開催となり延べ五百六十六名の参加となりました。



今回も関東在住者をはじめ、海外からは初参加のバルタ公子（旧姓吉田）さんが米国カリフォルニアより参加されました。

代表幹事の上田幸子さんの開会挨拶で始まり「長すぎるぞ」と言わんばかりの出席者面々の顔色を伺いつつ、私の尚和会会長就任のご報告をも含めた挨拶も終え、亡くなられた同期生への黙祷に入りました。この五年間で新たに十名、夭折の仲間を含めて既に二十五名が逝かれたことは悲しい限りです。

恩師は、中西昭次先生、二階堂洋先生、牧末男先生の三名が駆けつけて下さり、各先生から祝辞を頂戴し、近況や我々が学当時の想い出話を楽しく懐かしく拝聴しました。先生方が我々の



中に入っても、同級生だと見間違えうほど、我々が年令を重ねたんだと痛感させられたりもしました。

乾杯の音頭は、前天王寺動物園園長の園田義昭君が行い、チャッカリと来園のPRもあり、お孫さん連れには、檻の反対側からの特別見学も可能だったか。

今回はアトラクションは止め、食事歓談時間をタツプリ二時間以上取ったことで、思う存分美味しい料理に舌鼓を打ち、話し合えたと好評だったようです。

今回のクラス幹事紹介と、次回幹事選出を加集允子さんがされ、校歌合唱、記念撮影後、名簿編集作成で大奮闘された上山貞剛君の閉会の辞でお開き。

二次会は同じホテル内のレストランを貸し切り五十名が参加。延べ六時間余りに及ぶ愉快な仲間の同期会は、五年後の卒業五十周年時の再会を約束し、午後十時前に終宴となりました。

三次会以降の各グループの行動は把握していませんが、クラス幹事、他の連中十数名と、懐メロを唄いにキタ新地へ。泥酔のH・T君を介抱しつつ帰宅は午前様でした。

高校二十八期 桜塚入学三十五周年記念同期会
幹事 一同
日時：平成二十年八月十六日（土）
場所：ホテル メトロ The 21
出席者 六十二名

一九九六年に「卒業二十周年記念」
二〇〇〇年に「ミレニアム同期会」
二〇〇六年に「卒業三十周年記念」



と回を重ね、今回はタイトルにも窮して、なんと「高校入学三十五周年」とこじつけの同期会でありました。まあタイトルはなんでもええわけなんです、入学〇〇周年と銘打った同期会は尚和会では初めてでは無いでしょうか？同ホテルの経理部長である同期の田中幸夫君には大変にお世話になりました。また次回もよろしくお願い致します。

「今回は二〇一〇年ですよ！」二十八期の皆さんお楽しみにお待ち下さい。又「ビシッ」と決まる様なタイトルを是非とも幹事までお寄せ下さい。

高校二十九期生 第二回大同窓会

報告者 吉田 薫

日時・平成二十年八月十六日(土)
場所・ヒルトン大阪

「五十歳になってしまったなあ」「わたしはまだよ」

そんな年の八月十六日、ヒルトン大阪の会場の受付に私たちは立った。五年前の記念すべき第一回の参加人数を上回ろうと年明けからの作戦会議を重ねた。まずは名簿の充実。クラス委員を立てて人海戦術をとった。当時の自宅に電話をかけ、交友関係をたどり、噂を頼りに足を運ぶ。しかし、この五年



で個人情報扱いは大きく変わった。振り込め詐欺の余波も受け、親御さんの口は堅い。だからうちクラス委員の携帯が次々鳴り出した。「〇〇さんの了解とりました」「△△君の住所判ったよ」:

こうして猛暑の中、百十二名の友が集い、六名の恩師のご列席も賜った。まだ育児に追われている者、孫の誕生を待ちわびる者、通学中、闘病中、就職活動中、結婚活動中と五十歳の暮らしは実に多彩であり、近況報告、思ひ出話と尽きぬ話題とともに二次会、三次会と場所を移し、再開を約束してお開きとなった。

私たちの知る限り、八名の同窓生がすでに旅立っている。彼らもきっと光となり風となつて会場に来てくれたのだと思いたい。

高校三十四期生 第二回同窓会

今井 徹

1. 二〇〇四年に、たまたま同級生と会う機会があり、「皆、どうしてんのかなあ? 久しぶりに会いたいね。」とその言葉を聞いた時、「会いたいね」と言っただけで、その会話で終わると思った。誰かが企画してくれるのを期待してもだめと思い、「じゃあ僕が、企画するわ!」と言っしまったのを記憶しています。それが、確か九月頃で、急遽ホテルやイベント会場を廻りましたが、結構一杯で。とにかく、その年には行いたいと思い、十二月四日と決めて突っ走り、無事一〇〇人弱の参加があり、一応成功に終わりました。で、次回はいつやるのかなあ? と質問があり、冗談で四年後のオリンピ

ックの年・二〇〇八年かな? と言ったのを記憶しています。

2. そこで、本当に月日のたつのは早く、二〇〇八年が訪れ、五月三日で独断でまずは、日と場所を決め、今回は実行委員(協力してくる人)を集めて色々企画を練り、又居場所のわからない人を分担して、確認して結構同級生リストは、三〇〇人近く集めることができました。が、今回の参加者も、約一〇〇人弱でした。

今回は、前回の要望もあり、四時間コースで、内容も現役高校生にダンスをお願いしたり、先生の挨拶や桜塚検定(桜塚高校に関する問題)や同級生のお店の紹介や、又最後は卒業写真を歌ったりで、結構メニュー盛りだくさんでした。たぶん、参加して頂いた方は、楽しんで頂けたのかな? と思います。

その後は、二次会でカラオケに行き、三次会では同級生のお店で。

始まりは、昼の十二時から夜中の〇時までと:



さすがに、次の日は、ぐったりしましたが、皆からの有難うメールを頂き、やっぱり企画して同窓会をしてよかったとつくづく感じました。

で、次回も、やはり四年後、二〇一二年かな? 今度は、二〇〇人以上は参加してほしいと今から気合が入っている今日この頃です。

高校三十五期卒業二十五周年 同期会

浜田 竜也

二〇〇八年十一月十五日の土曜日に「桜塚高校三十五期学年同窓会」が豊中のホテルアイボリーで卒業二十五周年記念と銘打って大々的に行われました。

思えばその数ヶ月まえにいつものように高校の同級生が集まった席で、現在桜塚高校で教壇に立っている桑田君が「学年同窓会できないかな?」と言いついて、そんなことの大好きな僕と佐保君が「おっ、面白そうやな。いちようやるか!!」ということ、まわりのメンバーも大勢巻き込み動き出しました。

まず、尚和会で同窓会のための住所録を手に入れ、卒業アルバムと照らし合わせて、各クラスに一人、二人、幹事役の方を勝手に決めて、連絡。知り合いなら話は早いですが、当時あまり交流がなかった人だと一苦労。でもなんと全三十二クラス集めて、何度も打ち合わせ。もうその時点でミニ同窓会は毎回盛り上がり、本番の成功を確信しました。

まず、日時を決めそれから場所を決め、会費、当日のイベント、進行などを何度も話し合い決定。

連絡方法は桑田君が、住所判明している方に一斉に往復はがきを送り、同時にクラス幹事らの協力を得て知りうるだけの同級生におもにメールで連絡。それをまた受け取ったものが知っている同級生に送るというチェーンメールのような作戦もとりました。

桑田君の予想は百〜二百二十人。一応ホテル側には百人で予約済み。出来る限りの準備を済ませあとは当日。晴れたらいいなあ…

さて、いよいよ当日。天気も最高。開始時間まえには受付に続々と同窓生が集まってきました。再会を懐かしむ声があちらこちらから聞こえてきます。僕は大きな声で「さあ、始まります。お願いだから会場に入ってください!!」

先生四名含む総勢百三十名あまりの同窓生が集まり、会は華々しくスタート。

物故者への黙祷、主催者代表の桑田君の挨拶、当時の先生がたの挨拶、乾杯の発声では元ラグビー部主将・府上君が当時から三十キロ増えた姿で壇上へあがると、彼のファンだった女子たちからは深いため息が…。

そして歓談。もうみんな料理やお酒を飲むことも忘れて大賑わいです。

僕とカシケン（あだ名）による「当時の写真のスライドショー」 当たり前だがみな若々しいなあ。

いろんな写真にさまざまに突っ込みをいれ、思い出が蘇ります。

修学旅行の写真のとき、当時なぜか旅行中に家に強制送還された事件の当事者四人のうち三名が出席していたのでそのときの真相を話してもらい、みんな思い出して大喜び。最後は三人が

「どうもすみませんでした」と謝罪してましたわ。^^

続いてマドンナ中沢さんと佐保&小島君のユニットで3曲演奏。本格的でした。

そのあとは引き続き音楽部による「校歌斉唱」 桑田君が用意した校歌のカラオケとみなに配った歌詞参照であの頃を思い出してみんなで歌いました。あつという間に時間は過ぎてお開きの挨拶は、当時の学年のアイドル中田さん。変わらぬ美しさでした。

最後に全員壇上にあがり記念写真。パチッ！

いろんなことをした一次会はお開きになりましたが、続いてそのままそこで二次会に突入。ほとんどみんな残りました。

とくになにも企画していませんでしたが、いつしか記念写真大会に！

「三の二集まれ」「二の五やった者集合」「次は硬式テニス部」…。

延々十数組写真撮ったんじゃないかな…。

楽しい時間は過ぎましてお開きに。藤中くんの一本締めで終了し、どこからか「三次会はどこ？」という話になり、なんと流れで豊中から梅田に場所を移して私の営む飲食店に五十〜六十名が来ることに…。

とくに予定していなかったのですが、まだバイトさんたちも来ていないので大変でした。

二十年前にうちでバイトしてた藤原君やその他友人たちにフル回転してもらって何とか準備OK。

それから四時間ほど、みな入れかわり立ちかわりいろんな友人と一通り歓談。当時のワル軍団もみな立派なおつ

さんになりうれしそうに飲んでいました。

みんなが心から喜び、笑顔で再会を喜んでくれるのを見て、「やっぱり同窓会がいいな。大変だったけどやってよかった」と幹事連中はみな感激もひとしお。

十時くらいまで大いに騒ぎ、四次会は十五名ほどでどこかのカラオケ。

五次会は佐保君、徳山君、庵谷君と四人でどこかの居酒屋。

もういい加減帰ろうとしたのは午前二時を過ぎた頃でした。…。

最高に楽しかった高校時代、そして当時の友人たちと再会した平成二十年十一月十五日、みんな忘れられない一日となったことでしょう。



高校四十四期生同窓会

第一回幹事代表 佐野 肇

田中（岡治） 智子

二〇〇九年一月二十四日（土）第四十四期卒業生の同窓会が、十七年ぶりに開催されました。

きっかけは、「卒業してから一回も同窓会してないなあ」と、たわいもない会話の中からでした。この話題で盛り上がったのが昨年の十一月の末。事の発端から、開催日までが僅か二ヶ月を切っているというとても短い準備期間でした。でも当時の私たちはこの「二ヶ月」という期間に対して全く短

いとは気付かず「で、いつしよっか?」「きつと、主婦もたくさんいるだろうし土曜のお昼は?」「三月だと会社が年度末で忙しそうだし、四月も入学シーズンでしょ?」「お正月が明けてホッとする一月末がいいんじゃない?」「こんな感じで簡単に日程は決定。結局、幹事役はその現場にいた「女子ハンドボール部員」数名と後から声を掛けていただいたワタクシでスタート。その瞬間から開催に向けて、怒涛の準備期間が始まりました。

「…で、何から始めたらエエの?」「まずは声掛けやで」「どこから?」と、最初はどこから手をつければいいのかわからず、全くの手探り状態で始まりましたが、偶然私の手元にあった「高校二年生時の連絡簿」を頼りにまずは「招待ハガキ」を作り始めました。招待状の表面はさすが現代っ子。パソコンですぐに取り掛かれましたが、なん

ととっても大変なのは「宛名書き」。年末というただでさえ忙しい時期でしたので、パソコンに入力する時間もなかなか、最終的には数人で手分けして、す

なわち「手書き」で宛名を書きました。それが終わったのが、十二月の第一週（話が持ち上がったから一週間程度）

宛名書きを終えた順番に郵送し、ホッとしたのも束の間：会場を予約しなければなりません。ただ、何人くらい参加してくれるのが全く検討がつきません。そこで、取った行動は…ただ「返信を待つのみ」。最初の返信は「宛て所なし」の赤いスタンプが、むなし

く押された返信ハガキの山…この時が一番幹事をやっていて不安な時期でした。それでも、返信ハガキにみんなが書いてくれる「同窓会開催してくれてありがとう」「楽しみにしています」の言葉や近況報告のメッセージの数々に何度も励まされました。幹事スタッフはみんなヘトヘトでしたが、一致団結して「頑張ろう!」って、改めて思いました。ただ、冷静に考えてみれば、およそ十七年前の資料のみで、連絡を取ろうとした私たちもかなり無謀だったとも思います。しかしながらこの辺りからさすが「桜塚の卒業生!」と思う底力的なサポートがありました。

同窓会の開催を聞きつけた仲間が、今でも繋がりのある友人に連絡をしてくれ、口コミで拡げてくれました。それプラス、インターネットサイト「E.E.I」の桜塚高校コミュニティサイトを活用したり、尚和会ホームページへの掲載も依頼し、少しずつですが、確実に同窓会案内は伝わっていきま

した。返信を待ち、「参加・不参加」を集計し、目処が立ってきたのでやっと、会場の大きさも決まります。そのあとは、現場下見・交通アクセス・値段交渉…など。結局、ホテルなどは时期的

なものか、単価が高くなってしまおうの
でインターネットを駆使し、比較的大
きなレストランバーに決定。ここまで
来ると、やっと落ち着いたと思えまし
た。この時点で、一月の第一週目を過
ぎていました。(開催日まであと二週
間)

会場と詳細が決まり、返信ハガキに
記された最新の連絡先に向かって会場
のお知らせを発信(連絡方法はメール
がほとんど)そのあとは大きなイレギ
ュラーもなく、当日を迎えることがで
きました。

そして、いよいよ運命の日。

十一時三〇分の開場を皮切りにほと
んどの人が大きな遅刻をすることな
く、ぞくぞくと会場に来てくれました
。参加人数は、なんと一〇〇名。最
初はほんとに集まるのか不安でしたが
皆の協力もあって、本当に多くの同窓
生が集まりました。

会場内に入ると…みんな高校時代に
戻ったようにハシヤギまくり、連絡先
を交換したり、写真を取り合ったり、
卒業アルバムを見たり、修学旅行、遠



足の写真をみんなで眺めたり…と、本
当にみんな十七年前に戻ったようにそ
の日は一日中、笑い声やステキな笑顔
が絶えることはありませんでした。結
局、十二時から始まった宴は最長五次
会まで続いたそうです。

その後は、撮った写真をネット上で
閲覧できるような仕組みを構築した
り、せっかく繋がった仲間なので、今
後いつでも連絡を取り合えるようにと
「メーリングリスト」を立ち上げた
り、これからも何かと集まりやすく、
悩み事が合っても仲間同士で相談しや
すい環境を、工夫して作っています。

きっかけはたわいもない会話からで
したが、皆で協力すれば「さすが桜塚
の卒業生」というのがとても強く感じ
られた、二ヶ月あまりの出来事でした。
本来、「尚和会」の事務局と協力す
れば、もっと割愛できる事もあったか
も知れませんがなにごん開催までの時
間が短すぎたので、こういう手法にな
ってしまいました。それでも、何かと
ご協力して頂いた尚和会の役員の方に
この場をもってお礼をさせていただきます。
ありがとうございます。

定時制第九期 祝古稀同期会

幹事 一同

日時…平成二十年六月十五日

場所…豊中ホテルアイボリー

出席者 男性十名、女性四名

祝古稀同窓会でありましたが、女性
より「私は古稀までウン歳もあります
よ」と、其の他の人からは「まだ一年
も先のことです」と指摘が有り、会場
一瞬騒めきましたが出席者の平均年齢
のど真ん中が古稀であります、説明
の結果全員が納得納得で再度の乾杯で



あります。

今回出席人数は最少でしたが、それ
なりに話題も密になり大変に盛り上
った同窓会となりました。そのは話題
は昭和二十九年(三十三)年頃の一生懸
命働いた、厳しい状況下で我慢をし忍
耐力を身につけた…どんなに時代が変
わろうとも大事なことだと思ふ平成の
時代であります。

最近日本の季節は五季あるかの様に
思える早さで過ぎ去り驚嘆するばかり
であります。出席者の近況報告内容は
両親の面倒見や孫の子守とのことで
が、残された非常に大切に意義ある時
間を共有し楽しいタイムを過ごせる同
期会に多数の出席を期待致して居りま
す。

幹事 男性三名、女性二名

定時制第五十五期同期会

『夜桜五十五の会』

幹事 平井 健介

日時…平成二十年十二月十四日(日)

場所…がんこ豊中店

出席者 十一名



師走も半ばを迎え、なにかとあわた
だしくなる十二月中旬、あいにくの曇
り空のもと急な呼びかけにもかかわらず、
九名の参加者と中田勝利先生、上
原隆先生のお二人にお集まり頂く事が
出来ました。

私達定時制第五十五期生にとって記
念すべき最初の同期会を、卒業してか
ら三年と九ヶ月で開催出来た事は大変
喜ばしい事でした。しかしその反面、
三十人余りの方々と連絡が取れなかつ
た事がぐやまれ、今後の課題として残
ってしまいました。

それでも当日は、懐かしい顔ぶれを
見ただけで場の空気が一瞬にして学校
に通っていた頃に戻り、近況報告そつ
ちのけで皆それぞれに懐かしい思い出
話に花を咲かせる事になりました。そ
れから後も、美味しい料理に舌鼓を打
ちながら楽しく過ごしている内に、あ
つという間に予定時間を迎えました。

最後に記念撮影を行い第二回の同期
会を担当する幹事を選出し、課題の連

絡方法を話し合い解散する事となりま
した。

今回お集まり頂いた皆様に御礼を申
し上げると共に、次回も元気でおい
出来る事を願っております。

第六回尚和会東京支部

総会・懇親会

平成二十年十一月九日(日)

尚和会東京支部

支部長 大岩 昭夫

二年に一度の東京支部総会・懇親会
が昨秋十一月に東京品川のプリンスホ
テルにて開催されました。支部結成以
来、早や十余年、関東地区在住の
一千七百余名の同窓会員にご案内状を
差し上げました。参加者は五十五名と
幹事の予想期待を若干下回りましたま
したが欠席者の方々の中、二十数名か
らお便りを戴き又八十数名の方々から
支部への協力を賜りました。誌上を
お借りして御礼申し上げます。

総会は支部長任期半ばで急逝された
斎藤良和氏並びに会員物故者への全員
による黙禱に始まり、支部長代行挨拶、
来賓紹介・挨拶、議長選出と進み、
議題審議に入りました。議事の進行は
各種活動報告、会計報告、最後に新役
員の選出と紹介等全て滞りなく進めら
れ総会は終了となりました。

来賓には大阪より西郷正人学校長、
尚和会より大島光昭会長、田中渡前会
長、吉田和久副会長をお迎えし、東京
支部会への激励、桜塚高校の現状、一
昨年の母校創立七十周年尚和会記念総
会・懇親会のお話をして頂き、参加者
一同興味深く伺うことが出来ました。
引き続きのアトラクションには今
回、卒業生の方ではなかったのですが



元読売交響楽団員のチェロ奏者「藤沢俊樹さん」とピアノ伴奏の「田澤恭子さん」をお招きしてクラシックと歌曲の名曲を楽しみました。現在幅広く活躍されておられるお二人の素晴らしい名演奏に一同ウットリと聴き惚れました。演奏が終了した頃には空腹もピークに達し高女卒大先輩の音頭によりビール・ワインで乾杯、和洋の御馳走に舌鼓を打ちながら歓談に入りました。ステージ上に招かれた西郷校長と先輩、後輩による会話の交流、そして同期同士の笑顔の輪で盛り上った楽しい時間は瞬く間に過ぎ、やがて慣例の校歌斉唱がバンケットルーム一杯に響き渡り散会となりました。

尚和会東京支部の集いには総会・懇親会を通じて在関東の桜塚同窓生、同期生の輪を拡げようという大命題があります。今回は大先輩であられる高女三期、四期、高校二期の方が各一名、高校四期の方が十一名もご出席下さり会場に元氣と明るさを戴きました。高校七期から十三期生までの参加者約三十名諸氏はまだまだ青年という感じを受けました。来年度以降には更なる若年層のOBが一人でも多く参加があれば好いなあと期待します。最後になりましたが今総会決議にて新役員の一に選出されました筆者、大岩昭夫（昭和三十四年卒、高全第十一期生）が十二月に開催されました支部役員会に於いて支部長の大役を仰せ付けられ就任致しました。微力ながら支部の発展に努力致し度く、今後共ご支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



同期会開催予告

高十一期五十周年

記念同期会

母校桜塚高校を昭和三十四年（一九五九年）に卒業してはや五十年になりました。

つきましては、左記要領で「五十周年記念同期会」を開催いたします。

なお、詳細はこの会報が届いて暫くした頃に、案内状を発送します。

日時：平成二十一年

六月二十八日（日）

十三時開宴（受付は十二時半より）

場所：ヒルトン大阪

四階「金閣の間」

会費：一〇、〇〇〇円

世話役代表 吉田 和久

〇六―六八五七―〇三五二

高校十六期

卒業四十五周年記念同期会のご案内

日時：平成二十一年

十月三十一日（土）

午後一時

会場：大阪第一ホテル「マルビル」

会費：一万円

予告します！五年振りの再会を目指して準備を進めています。その日を空けておいて下さいますように！

◎問い合わせ先

上野山寿樹（幹事長）

〇七二七―六六―四五八一

高校四十六期卒業十五周年記念同期会のご案内

日時：平成二十一年

九月二〇日（日）十七時

場所：韓めし居酒屋「ふらいむ」吹

田市豊津町九―四四

ハートランド江坂三F

会費：五千円

出席できそうな方は、八月末までに、メールにてご連絡下さい。遅くまでしていただきますので、遅れて参加もOKです。

お問い合わせは、榎本誓士

〇九〇―四七九五―四二二一まで

会場は、同期の今井健寿君のお店です。同期会以外でもご利用下さい。

世話人代表

森 正臣

世話人

青木裕美子

上垣 一郎

上田 靖子

大岩 良和

国安智恵子

田中 一郎

戸田 大輔

藤谷 淳子

山脇 傑

朝久野 豊

上田 あき

榎本 誓士

鎌倉 亜紀

高須 史行

筒路 敦美

原田 敬二

中島真理子

高校定時九期

卒業五十周年記念同期会のご案内

日時：平成二十一年

五月二十二日（金）

午後六時開宴

会場：赤穂御崎温泉

「かんばの宿・赤穂」

会費：一五、〇〇〇円

代表世話人 中本 賢一

〇六―六八五四―二〇七八

◎ご賛同の方は至急に葉書にて連絡下さい

千五六〇―〇〇二一

豊中市本町五―一六 中本 賢一

尚和会会員数（単位：人）

	高女 1期～ 8期	併中 1期～ 2期	高 1期～ 61期	定 1期～ 59期	定通併修 1期～ 9期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会員数	2,061	229	27,248	4,331	107	824	66	42	34,908
物故者	420	18	736	99	0	177	0	0	1,450
住所不明者	275	44	7,369	2,312	19	208	4	0	10,231
住所判明者	1,366	167	19,143	1,920	88	439	62	42	23,227
判明率	86.6%	80.8%	72.9%	46.6%	82.2%	74.7%	93.9%	100.0%	70.6%



教職員人事異動

●退職

事務部長

太田 哲雄

大阪府議会総務
秘書グループへ

●転出

准校長

関 省子

阿武野高校
校長へ

●着任

准校長

鈴木 弘一

東豊中高校より

事務部長

高柳 義人

環境管理室
環境保全課より

●退職

国語

石田 誠

本校教諭再任へ

国語

湯原 春美

本校非常勤講師へ

社会

藤本 隆

本校教諭再任へ

理科

鶴川 晋

本校非常勤講師へ

英語

重松 洋子

本校非常勤講師へ

●転出

数学

吉田 修

福井高校へ

保健体育

野村勝太郎

池田北高校へ

英語

木埜 良章

大手前高校
定時制へ

英語

和田 充司

茨木高校へ

実習助手

西川千佳子

港高校へ

主事

鷺田真一郎

池田土木事務所へ

●着任

数学

田中 正男

西淀川高校より

国語

佐藤 洋子

槻の木高校より

社会

庵地 康志

守口東高校より

保健体育

浅井 憲司

茨木工科高校より

英語

今井 道子

枚方なぎさ高校
より

英語

岡本 直行

東淀川高校より

英語

木本 直子

少路高校より

実習助手

大塚まち子

北野高校
定時制より

主事

青野まゆみ

豊中高校より

数学

藪 麻智子 新任

定時制課程

●退職

英語

馬場 将夫

情報

森 祥友

●転出

国語

上原 隆

園芸高校へ

養護教諭

長石 明子

旭高校へ

実習助手

石野 昌彦

箕面東高校へ

課長補佐

泉玉 雅之

手島高校事務長へ

主査

上西 孝志

能勢高校へ

技師

茨木 隆

春日丘高校へ

●着任

国語

三村 勇貴

新任

英語

平松 優亮

新任

保健体育

明田 眞次

北野高校より

養護教諭

山中 智子

新任

課長補佐

青柳 信一

総合計画課
主査より

主査

木下 華市

水質管理センター
主査より

お便りから



平成二十年五月から平成二十一年一月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。

旧職 水田 紀久

高十六期、長生豊子さん(旧姓斎藤)

のご令息、長生幸司医師のお陰で大腸

癌切除手術に成功しました。

(編) 倉田先生の追悼記事を投稿して

頂きました。ご回復をお慶び申しあげ

ます。

旧職 村上 順江

毎年ご案内頂いてはとうとうにありが

とうございます。まだ仕事をしていま

すので出席が出来なくてすみません。

高女二期 丹田 寧子

いつも会報をお届け下さいましてあ

りがとうございます。

高女二期 中村 徳子

会報楽しく拝見致しました。色々と

お世話になり感謝しております。

高女二期 吉岡万里子

美しい尚和会の会報ありがとうございました。

尚和会の発展をお祈りします。

高女二期 村上てふ子

高女二期会に参加出来て楽しかつ

た。「貧者の一灯」すみませんです。

高女三期 小倉 澄子

年々足と、目が弱くなり総会に出席

出来ずに残念です。会報誌楽しみです。

高女三期 侯野 加代

会報いただきました。何時も有難う

ございます。又、来年の会報を首を長

くして待ちます。楽しみです。

高女五期 北村 嘉子

尚和会会長の交代で又お世話になり

ますが、よろしく願います。会の

発展を祈ります。

高女五期 林 道子

創立70周年記念式典の様子、カラー

写真で美しく掲載され嬉しく拝読いた

しました。お世話下さいました方々あ

りがとうございました。

高女五期 廣實 輝子

昭和は遠くなりましたね。70年の歴

史の中に戦争は消えたのですね。

高女五期 和氣 恭子

高女五期の集まりが自然消滅し誠に

残念ですが、ハンドボールの高女期の

集いは、皆元気で楽しく続いております。

高女六期 森 繁子

いつもお世話になり有難うございま

す。高女六期生は平成18年と19年にお

元氣な井上まさ先生をお迎えして同期

会を開催しました。

高女七期 富田 恭子

70周年おめでとうございます。ご発

展をお祈り申し上げます。

高女七期 吉久保美都里

風薫る五月、明るい光の中で会報誌

を開くのは本当に嬉しい極みです。来

年へと希みを繋ぎます。

高女七期 渡辺 良子

創立70周年記念誌をお送り下さいま

して有難うございました。母校の繁栄

を心から祈念いたします。

高女八期 市川志づ子

クラブ便り拝見し戦後、島からテニ

スコート開きにやつと漕ぎつけた事懐

かしく思い出しました。77才の今も週

一度のテニスを楽しんで居ります。今

はどんなコートになっているのでしょ

うね。ボールをしつかり見て頑張つて

下さいね。

(編) 今回のクラブ便りも見て応援お

願います。

高女八期 木方 嘉子

先輩、同輩のご健康と後輩の方々の

益々のご活躍をお祈り申し上げます。

高女八期 滝本佳代子

卒業してはや59年、こんなにも年月

が過ぎゆくのが早いのに今更おどろい

ています。

高二期 大竹多摩子

「進路状況」早速取り上げて頂き感

謝しております。進学だけでなく「就

職状況」も知りたいです。

高二期 脇野 優子

大阪を離れて40年、尚和会報は故郷

の便りです。有難うございます。

高三期 寺門 良子

いろいろお世話になりました。ありが

とうございました。今後ともよろしく

お願い致します。ご発展を心よりお祈

り申し上げます。

高三期 増山 和子

会報を頂いた折、骨折のため入院し

ておりました。気づかないまま今にな

り大変遅くなりました。よろしくお願

い致します。

(編) お元氣になられましたか?ぜひ

またお便りをお待ちしています。

高四期 林 正宏

毎年五月の連休中に尚和会報が到

着、瞬時に60年前の楽しい日々の

思い出に没入させてくれます。

高五期 中島 光夫

毎号母校の様子やイベント内容等を

拝読して、ここ堺に転居してから豊中

に行く機会を逸した現在ですが青春を

過ごした頃の事を懐かしく思い出して

います。

高六期 久津間昭江

尚和会会報ありがたく拝受致しまし

た。今年は金婚式、夫の喜寿祝い。家

族が一堂に会することに喜びをかみし

めています。

高六期 横山 新

いつも会報をお送り下さりありがと

うございます。

現在、大阪地検で被害者支援員をさ

せてもらっています。

高七期 井上 治子

二〇〇七年七月にはじめて小説『海

に招かれた』を出しました。一年が

かりで良い経験をしました。

(編) ご本の出版社はどちらでしょう

か?またお便り下さい。

高七期 築坂 加寿

高女三期、高三期、高七期と三姉妹。

今のところ、お陰様で何とか元氣でお

ります。

高七期 仁木 悦子

編集・お世話役の皆様有難うござい

ます。毎年楽しみにして居ります。

高七期 松浦 峻

いつもお世話ありがとうございます。皆様のご活躍をお祈りしています。

高八期 大内 雍子

尚和会会報いつも懐かしく拝見しお世話下さっている方々に感謝しております。

高八期 垣岡 和子

たいへんお世話様です。ありがとうございます。

高九期 中村 清嗣

H19年母校を訪問しました。皆様の活躍（スポーツ）を拝見させて頂きました。我々の昭和20年代も相当頑張りましたが何も資料が残っていないのが残念です。

高十期 宮下 秀雄

定年後岡山で5反半の農地で「米、野菜」作りをしています。

高十一期 鈴木マズミ

会報をありがとうございます。皆様のお幸せをお祈りしております。

高十一期 中井 利子

会報をいつもありがとうございます。田中前会長、お世話になりました。

高十一期 森 幸子

前尚和会会長田中渡様 六年間もお世話になりました。

高十二期 岡田 豊子

会報有難うございました。なつかしく目を通しますと共に役員の皆様に御礼申し上げます。

高十二期 西村 健次

元気で働いています。本校の発展をお祈り致しております。

高十二期 三宅 睦子

「13期3年7組は内田彰先生を囲んで桜塚のさくらと3年7組をキーワードに「3・7桜」（みなざくら）会と言うクラス会を開催し楽しい時を持たせて

いただいています。

高十四期 吉田裕理子

いつもお世話になってます。しばらくご無沙汰ですが懐かしく会報楽しんでます。

高十五期 秋山八津代

大島さん、上田さん色々お世話になります。諸行事が重なり出席できないことが多く残念です。又の機会を楽しみにしています。

高十五期 太田 雅敏

会報を送って頂きありがとうございます。役員の皆様のご努力に感謝しております。

高十五期 桐野江尚野

いつもお世話様です。ありがとうございます。

高十五期 佐藤 泰子

世話人の皆様、たいへんご苦勞様です。感謝しております。

高十五期 蓮江久美子

いつもお世話になりました。

高十五期 福士 凱彦

会報ありがとうございます。毎春届くのを楽しみにしています。あの当時にタイムスリップして懐かしい想いにひたされます。Viva桜塚！

高十五期 山本加代子

会報誌を楽しみにしています。

高十七期 柴田 俊子

♪かがやけるさつき大空へ校歌の通りの季節となりました。いつも会報ありがとうございます。益々のご発展をお祈りします。

高二十期 高橋 陽子

先輩の山城さん（桂春之輔師匠）の落語が聞けなくて残念でした。

高二十期 山口 恭史

70周年記念行事に参加できなくて残念

念でした。今年の還暦同期会が楽しみです。

高二十一期 岩井 角夫

ご苦勞様です。母校のためによりしくお願いします。

高二十一期 小松 友代

長野に嫁いで34年。なかなか総会にも出席できず、くやしーです。

高二十一期 富永 操

会報楽しく読ませて頂いています。お世話して頂いている方々に感謝いたします。

高二十二期 市野理枝子

いつもお世話いただきありがとうございます。

高二十四期 松野喜代子

同窓会で語り合える日を楽しみにしています。

高二十五期 末廣 孝子

昨年70周年の式典に出席しました時、在校生の生徒さん達がとても礼儀正しくて感心いたしました！

高二十五期 田中 一代

さくらの花形をくり抜いたコンクリートの塀がうれしいです。

（編）特集記事で楽しんで頂けたと思います。

高三十期 池田 桂子

ホームページをもっと更新して下さい。楽しみに待っています。

（編）総会の開催に合わせてリニューアルしております。お楽しみにお待ち下さい。

高三十期 井塚 弥生

会報に私の新聞記事投稿文を掲載して頂きありがとうございます。

高三十一期 前田 礼子

近々手術をします。必ず元気になります！！孫が二人いますが双子でまだ四歳です。

（編）手術のご成功をお祈りしております。

高三十二期 山村 宏記

来年の二〇一〇年、卒業30周年同期会やるぞ！！

（編）同期会開催予告をお願いしますね。待っております。

高三十六期 村上佳津子

21年2月22日に一年五組の小さな同窓会をしました。担任の長尾先生も77才、というので「おめでとう」とお招きし最後は校歌斉唱までやりました。次は高36期全体での同窓会をしていすね。

高三十七期 松下 和子

37期のみなさん、お元気ですか？最近、歳を感じる毎日です……いやいやでもまだまだ若い！！

高六十期 行村 友哉

父も桜塚高校卒業（23期）です。

定六期 塩田 廣一

四年間、夜間通学の試験をただ感謝致しております。

定七期 佐々木好一

隅から隅まで楽しく読ませて頂きました。昭和も遠くなった感じがします。あちこちと壊れてゆくわが身体、なんとなく不安な、そんな気分を払拭してやさしい気分にしてくれた会報に感謝感謝！ありがとうございます。

夜桜の教え子たちへ

高校29期 山澤 健二（笑福亭仁勇）

今年も桜塚高校定時制課程で、講座を受け持つことになりました。

月に二、三回の授業ですが、もう5年目になりますね。当初は「土曜開放講座」という名前で、一般市民も受講できましたが、三年目からは普通の授業に編入されたのです。

僕の場合は「非常勤講師」の登録です。それも頭に「特別」が付いていて、「特別非常勤講師」という見るからに弱い立場です。それでも生徒たちと過ごす時間はとても楽しく、年に二回くらいですが、他の先生方と飲む機会もできる限り参加しています。

「日本文化研究」というテーマで、上方古典芸能を中心とした、娯楽性の高い講座として、生徒には人気のようです。

卒業を目の前にした四年生ばかりが受講しています。最近ではむかしの定時制のように、昼間仕事で疲れて、そのなか勉学に励むという「苦学生」のイメージとは変わり、みんな元気で明るい生徒ばかりですね。4月16日の今年度初授業も、いきなり打ち解けて、自己紹介代わりに僕の学生時代の話などをしました。木造校舎で学んだことも少し自慢しました。ですからどうしても話が横道に逸れて、雑談で終わってしまうこともあります。反省。そういえば以前、卒業生で、成人式の晴れ姿を携帯メールで送ってくれた子もいたなあ。

僕が三〇数年前に過ごした学舎で、現在、学生生活を送る彼ら。みんな卒業すれば同じ尚和会の仲間です。総会などに来てくれたら、こんな嬉しいことはないんですがね。待ってるよ！

（広報担当）

平成二十年度
新年理事会・評議員会報告

行事委員 志賀 順子

今年度の理事会、評議員会との新年合同懇親会は、一月十八日(日)大阪のウエスティンホテルにて開催されました。新年早々の多忙な時期にも拘わらず五十六名の参加がありました。初めての挨拶で大畠会長から、母校の堀(豊中高等学校校舎創建時からある)が国登録有形文化財に選ばれたと紹介されました。西郷学校長からは、母校がクラブ活動等で輝かしい成績を修めているという話があり相繼ぐ嬉しい報告となりました。各委員会報告のあと、いよいよお楽しみの会食となり満腹するまで堪能できました。恒例のビンゴゲームは、昨年より予算が増えたこと、数名の方からとホテルからの寄贈もあり参加者全員に景品が当たりました。それだけでなく別途各テーブルに一つ景品が当たるといふ超豪華版となりました。今、世界経済不況といわれ先行き不安の中、この日だけは何もかも忘れて懐かしい青春時代に、ふと戻り明日からのエネルギーを充電出来た一日となったことと思います。



来賓挨拶
西郷学校長



谷田元会長の
乾杯の首領



神田 照子	定13期 美穂	堀 明美 (老村)	高18期 昭広	高橋 康弘	高15期 祐三	松浦 昭	荒川 良和	高13期 寛蔵	大川 四郎	玉城 照久	荒川 弘子 (塩見)	高8期 禮子 (南部)	内田 千恵子 (京谷)	福田 和弘 (新貝)	三田 真治	岩本 吉寿	高4期 木吉	佐々 美登里	高3期 信子 (浜田)	八木 昌代 (上田)	中村 和子 (上野)	鈴木 美津子 (荻)	森田 律子 (田中)	高女4期 三恵子 (山下)	前川 三恵子 (杉浦)	大橋 章子 (杉浦)	高女1期 熊太	坪井 明	倉田 順雄	旧職員
H 20 3	H 20 2 21	H 20 2 11	H 20 8 23	H 20 7 19	H 20 11 2	H 20 4 2	H 20 5 30	H 20 1 16	H 20 8 23	H 20 11 25	H 20 6 19	H 20 2 28	H 20 3 2	H 20 5 19	H 20 7 27	H 20 5 28	H 20 10 1	H 20 4 21	H 20 3 17	H 20 8 14	H 20 3 11	H 20 1 21	H 20 4 8	H 20 2 21	H 20 7 31	H 20 9 11	H 20 11 29	H 20 5 13		

平成二十年度物故者芳名
(平成20年1月1日〜12月31日まで)

◆協力金をありがとうございました◆
(金額は納入合計額)

[illegible]

村上三喜男 六千円	河崎 守男	川西 敏夫 武田裕次郎 前澤 勇吉 二千元	斎藤 圭子 杉本 曉子 中嶋 敏博 橋本 悦子 鈴木 雅子 二千元	大谷 士郎 金子 茂子 志藤 律子 菅本タカナ 小石 雅也 二千元	室木 伸治 三千元	志満 安夫 好光 章 小松 友代 二千元	和田 展明 上元 一泰 内田 恭子 大久保瑞穂 二千元																			
●高十期 千円	乾 光昭 北谷 卯女 田中 敏勝 黒沢 朋 上杉 惠三 宇野 和子 二千元	大星美智子 先川 照子 睦雄 三上 昌昭 平田 亘弘 西田 公子 二千元	井上東洋志 愛葉 能久 石崎 英一 山崎 貞子 市原 洋子 山崎 隆 中嶋 敏博 山崎紀美子 山崎 圭子 前川 悠子 寺西 悠子 三千元	荒木 健志 柴本美佐代 橋川 晃代 平川善一郎 二千元	●高二十二期 千円	阿波野千穂子 岸本 芳久 筒井 孝子 野田美恵子 三浦 祥子 古賀 正雄 加藤 茂 大石佳世子 神地 美子 大西 明代 五郎川洋子 日野田征佑 山野井茂登子 二千元	●高十三期 千円	奥田 智 小野 武司 鹿島 紀子 鈴木 文彦 山崎千鶴子 路熊 操 渡辺沙洪子 千円	●高十一期 千円	一戸 素子 遠阪 進 岡 加代 岡田 良始 綿笠 公子 久米 健雄 高橋 三子 増田 泰子 森本 泰恵 千円	●高十五期 八百円	T・M 青木 洋志 大西 順子 奥野 靖行 小東 武 成房 呈子 善計 千円	●高十八期 千円	青木 撮影 足立 能知 大塚 久子 昌尾 一弘 千円	●高二十五期 千円	井場美保子 箕田 一 中嶋 恭子 村上 学 上野 圭子 島瀬 雅子 田中 睦治 増田永津子 千円	●高三十二期 千円	淡路 絹子 小野 佳恵 岸本 幸彦 石川 博之 森田 敏之 新熊美津子 千円	●高三十三期 千円	青尾 明子 福岡久美子 池本 清人 内海 静子 千円	●高三十四期 千円	酒井 宜子 伴 順子 中谷 和宏 綿田 康嗣 植村 久世 岡村 紀彦 斎田 洋子 山本 紀子 佐藤 光美 中川 典子 千円	●高三十五期 千円	植村 久世 岡村 紀彦 斎田 洋子 山本 紀子 佐藤 光美 中川 典子 千円	●高三十六期 千円	山本 佐知 千円
●高十三期 千円	奥田 智 小野 武司 鹿島 紀子 鈴木 文彦 山崎千鶴子 路熊 操 渡辺沙洪子 千円	●高十六期 千円	井上 禮子 岡本 和子 尾西 史子 近藤恵美子 川田 益就 境 公子 中森 公子 森川 久子 千円	●高二十一期 千円	榎原 幸子 小阪 真代 中村 雅美 千円	●高二十八期 千円	伊丹 雅昭 市田 隆士 上田 敏雄 大元 充 千円	●高三十三期 千円	山本 佐知 千円	●高三十四期 千円	酒井 宜子 伴 順子 中谷 和宏 綿田 康嗣 植村 久世 岡村 紀彦 斎田 洋子 山本 紀子 佐藤 光美 中川 典子 千円	●高三十五期 千円	植村 久世 岡村 紀彦 斎田 洋子 山本 紀子 佐藤 光美 中川 典子 千円	●高三十六期 千円	山本 佐知 千円											

●高五十三期	岡田 幸宏	加藤 景子	寺本 聡
●高五十四期	笹部のり子	栗原 綾子	西川 新
●高五十五期	緑谷 知	栗原 綾子	西川 新
●高五十六期	秋山 将	内田 絵理	大須賀陽子
●高五十七期	高橋由希子	矢野 倫子	吉田 一朗
●高五十八期	平井健一郎	山下由加里	栗原伸一郎
●高五十九期	佐野友香里	井田惣太郎	栗原伸一郎
●高六十期	松葉 悠子	森田 祐美	栗原伸一郎
●高六十一期	元古 義隆	齋藤 雄太	下飼 英明
●高六十二期	西垣 葉月	萩原 文子	幸林奈津子
●高六十三期	乾 哲治	河田 充弘	片芝麻里奈
●高六十四期	渡邊 晋次	中 結花	藤井 恵
●高六十五期	青木 省二	笹部 洋司	林 香織
●高六十六期	青木 健太	只野 正隆	田 潤
●高六十七期	根本 大貴	林 恵太郎	田 潤
●高六十八期	青木 咲実	林 恵太郎	田 潤
●高六十九期	友原 章太	松本 彩	行村 友哉
●高七十期	松本 彩	行村 友哉	城戸 美咲
●高七十一期	津田 利男	久保 久雄	山田喜久子
●高七十二期	田中 久雄	久保 久雄	山田喜久子
●高七十三期	谷向 暉	山口 典子	生員 政徳
●高七十四期	高田 武雄	高田 武雄	高田 武雄
●高七十五期	高田 美代子	塩田 廣一	中川 豊
●高七十六期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高七十七期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高七十八期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高七十九期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十一期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十二期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十三期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十四期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十五期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十六期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十七期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十八期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高八十九期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十一期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十二期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十三期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十四期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十五期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十六期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十七期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十八期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高九十九期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一
●高一百期	高田 正幸	宮田 末子	長澤 寿一

ご宿泊、ご宴会、ご婚礼、レストランのご利用すべてのシーンに、ぬくもりを感じていただける、それが（ホテル アイボリー）です

特別プラン 天然温泉付、同窓会、OB会プラン

お食事、お飲み物、天然温泉入浴券付
お一人様 4,500円（税サ込）

ご予約は10名～20名様まで。※詳細は予約係までお問い合わせ下さい。

ホテル アイボリー

〒560-0021 大阪府豊中市本町3丁目1番16号
TEL. (06) 6849-1111 (代) 予約直通 (06) 6849-5040

もう、**ゴールデン**を知った私は、**は使えない。**

★ アクリル 絵 具
for Artist
GOLDEN
ACRYLICS
ゴールデン アクリリックス

右も、左も、おなじ色ではもの足りない。
新個性色。
ゴールデン アクリリックス
ひとりと違う個性をおなじ絵具で表現できる。もう、描きたいものがある。もったいないものがある。と、よりおなじ絵具では足りないあなたに、新個性色、ゴールデン アクリリックス。
色の伸び、発色の良さ、そして多彩なメタリックが、アクリルのアトラストーンから絶賛を浴びた名品です。
●20 ml 60 ml 150 ml 全98色
メタリック全33種

代表取締役社長 地 平 宏

明日の色をつくる...
タニタ 色彩株式会社
〒532-0032 大阪府淀川区三津屋北2-15-7 TEL. (06) 6308-1212
〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-1-3 TEL. (03) 3953-5161

編集後記

70周年記念総会の様子をお伝えした昨年の会報編集者の大畠氏（現会長）より広報のバトンを受けて今年の第57号を編集させて頂きました。特集記事として「桜塚の堀の文化財登録認定」をお届け出来た事、また表紙には尚和会で養生した、玄関の「枝垂れ桜」を掲載させて頂き、以前と同様に桜塚の歴史に残る頁をお届け出来たのでは、と思っています。

本号では学校クラブの方々からの熱心な掲載依頼を多数頂きました。紙面の関係で全ての投稿を掲載するために、文字を小さくしております。何卒ご了承下さい。

本誌全般をご覧になって「変わらぬ映えのしない紙面だ」とのお声もありますが、まずは前編集者の作業を受け継ぎその中から少しずつ新しく、より現代的にマッチさせた物へと変貌させていきます。また五月十七日の総会に合わせてホームページもリニューアルしております、ぜひご覧下さい。

会報・HP併せまして皆様方の多くのご意見、ご指摘をお待ちしておりますと共に尚和会の充実発展、活性化へのご意見・ご協力をお願いいたします。

（思い出の一
枚として何か
ないものかと
探してありま
した私の当
時の襟章があ
りました）

高28期
乾 憲隆

平成二十年度総会・懇親会

行事担当副会長 上田 幸子

平成二十年度の総会・懇親会は五月十八日(日)にホテル・アイボリーにて開催されました。

来賓・会員合わせて百余名のご参加を頂きました。前年度が七十周年の記念総会が華々しく行われた後だけに、少ない参加になるのではないかと懸念したことが嘘のようにたくさんのご参加を頂きうれしかったです。

総会では、関省子准校長より尚和会に対する温かいお言葉や在校生の近況報告などのご挨拶を頂き、新会長に就任された大畠光昭氏からは、今年度役員が若返ったことを含め紹介がありました。

アトラクションの方では、ちょうど前の年ぐらいからNHKの連ドラで落語家を取り上げた「ちりとてちん」が放映され、落語ブームが沸き上がっていた折、高校十九期の桂春之輔師匠と二十九期の笑福亭仁勇さん(今年度から財務担当副会長)のお二人に落語を演じていただき、なまの落語にふれることができて本当に楽しいひとときを過ごさせて頂きました。加えて三味線の下座さん(「げざ」さん)と読んでお雛子さんのこと)も高校三十五期の石川裕美子さん、三十七期の谷口典子さんが参加して下さい、懇親会もとても盛り上がりしました。改めて母校卒業生の幅広い活躍ぶりを再確認いたしました。出演者の同期の方にもきくと楽しんでもらえたのでは、と思っています。さて今年の総会は五月十七日(日)

に行われます。アトラクションは、桜塚高校フォークソング研究会のOB、二十五期から三十六期までの約二十名の皆さんで素晴らしい歌声を聞かせて下さることになっています。同期の皆様はもちろん、お友達もお誘い合わせて、ぜひ多くの方にご参加頂きますよう、お願い致します。



関 准校長



ハイ!!ビンゴ!!



春之輔・仁勇両師匠



桜塚高校尚和会 総会



ジャンケンボン



乾杯の音頭
前田中会長



桜塚高校尚和会 総会

会報を探しています！

尚和会では過去に発行しました会報のアーカイブ化(資料をデジタルデータ化して保存)を予定しております。昭和28年発行の第1号より、昨年の56号までの会報のなかで、創刊からの5号分と16号、19号、24号の所在が確認出来ておりません。(第1号についてはコピーが現存しておりますが不鮮明なため、また第19号については完全な状態でないため)

★探しています会報一覧★

第1号 昭和28年4月1日発行	新聞1/2サイズ	6頁	第5号 昭和32年	発行日不明	詳細不明
第2号 昭和29年	発行日不明	詳細不明	第16号 昭和43年	発行日不明	新聞1/2サイズ 8頁
第3号 昭和30年	発行日不明	詳細不明	第19号 昭和46年5月1日発行	新聞1/4サイズ	12頁
第4号 昭和31年	発行日不明	詳細不明	第24号 昭和51年	発行日不明	詳細不明

これらの会報を探しております。なにぶん古いものとなりますがお手元で保存されている方がおられましたら一度探して頂けますようお願い致します。

なお、連絡先につきまして尚和会までお願い致します。